

青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事

図面リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 1	特記仕様書	A - 21	矩計図 (改修後)	E - 1	電気設備 特記仕様書
A - 2	特記仕様書	A - 22	展開図 (現況)	E - 2	電気設備 電灯照明設備図(改修後)
A - 3	特記仕様書	A - 23	展開図 (現況)	E - 3	電気設備 電灯照明設備図(現況撤去)
A - 4	特記仕様書	A - 24	展開図 (改修後)	E - 4	電気設備 コンセント・放送設備図(改修後)
A - 5	配置図 兼 仮設計画図	A - 25	展開図 (改修後)	E - 5	電気設備 コンセント・放送設備図(現況撤去)
A - 6	工事概要・外部仕上表・内部仕上表			E - 6	電気設備 自動火災報知設備図(改修後)
A - 7	1階平面図(現況)			E - 7	電気設備 自動火災報知設備図(現況撤去)
A - 8	天井伏図(現況)				
A - 9	天井伏図(改修後)				
A - 10	屋根伏図(現況)				
A - 11	屋根伏図(改修後)				
A - 12	立面図 (現況)				
A - 13	立面図 (現況)				
A - 14	立面図 (改修後)				
A - 15	立面図 (改修後)				
A - 16	断面図(現況)				
A - 17	断面図(改修後)				
A - 18	矩計図 (現況)				
A - 19	矩計図 (現況)				
A - 20	矩計図 (改修後)				

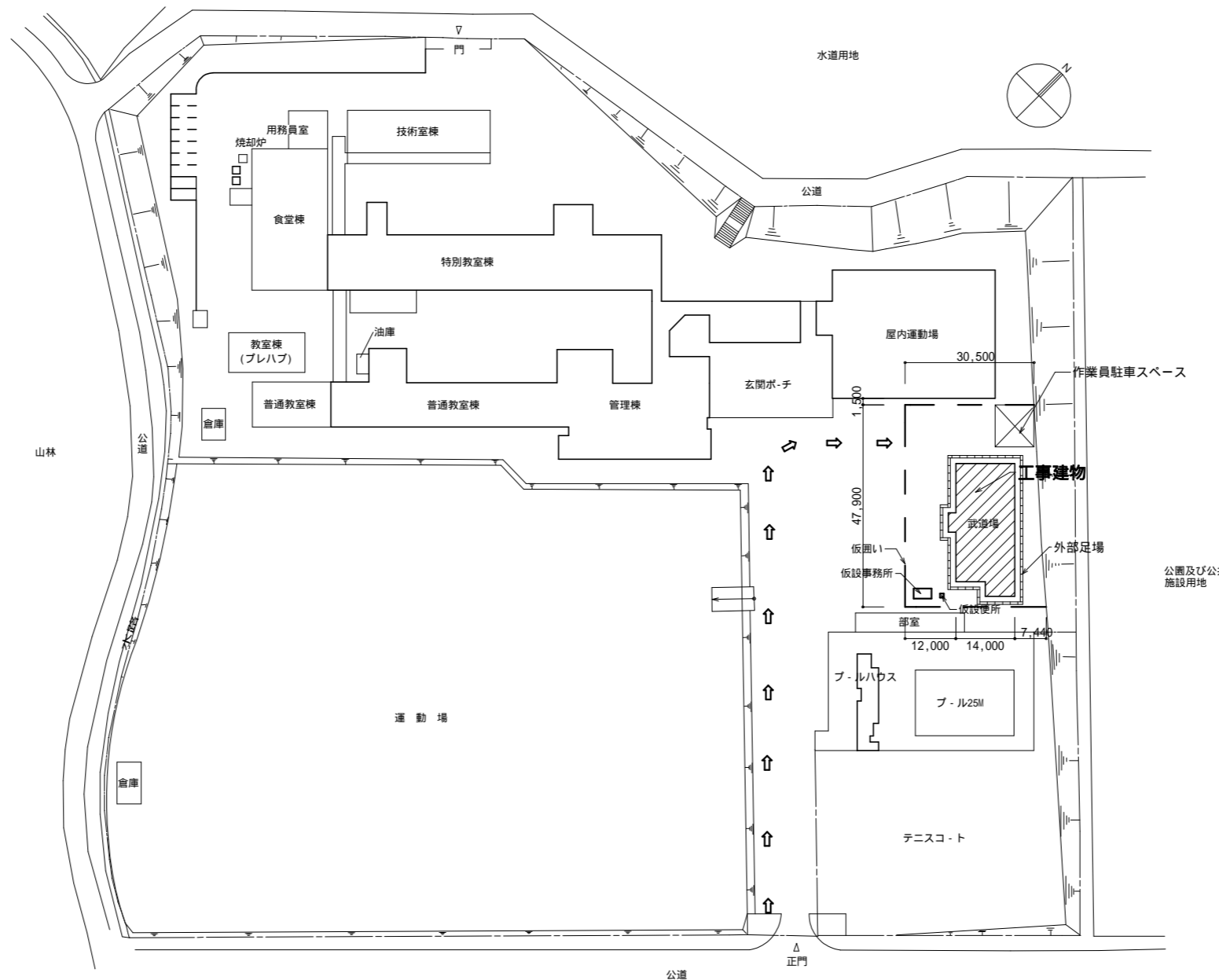
工 事 名 青山中学校武道場吊天井耐震対策工事		特 記 事 項																																																																																																																						
I 工事概要 1. 工事場所 伊賀市阿保地内 2. 工事内容 下記の事項に拠る <1-1> 吊天井耐震対策工事 排煙窓改修工事 電気設備工事：照明設備改修、他 屋根改修工事（雨漏り、劣化改修） 上記に伴う、撤去処分工事 上記に伴う、建築改修工事 上記に伴う、電気改修工事 上記に伴う、機械改修工事 <2-1> 上記に伴う、廃材処分工事		⑦ 発生材の処理等 ・引き渡しを要するもの（ ） (1.3.8) ○特別管理産業廃棄物 ※有（ 屋根：コロナル葺き ） 処理方法（ レベル3 ） ・現場において再利用を図るもの（ ） ・再生資材の利用を図るもの ・アスファルトコンクリート塊 ・セメントコンクリート塊 ○建設発生木材 ・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること ○引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。 （マニフェスト票の写しを提出すること。） ⑧ 建築材料等 ※本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官庁官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という）及び別記記載の資材及び見積りメーカー（参考）又はこれらと同等とする。 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。 ※合板、木質系加工材、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コウ樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びフロンを発生しないか、発散の少ないものとする。接着剤は、フタル酸ジエチル及びフタル酸ジエチル含有し難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が少ないものとする。 ⑨ 施工中の安全管理 ※接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にに行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。 10 施工数量調査 調査範囲 ※図示（ ） (1.5.2) 調査方法 ※図示（ ） 11 調査のための破壊部分の補修 補修方法 ※図示（ ） (1.5.3) 12 技能士 ※職種別に可能なものについては積極的に活用すること。 (1.6.2) ⑬ 化学物質の濃度測定 ※測定する ○測定しない (1.6.6) ※測定対象化学物質（○で示したものとする。） <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>トルエン</td> <td>キシレン</td> <td>スチレン</td> <td>エチルベンゼン</td> <td>パラジクロロベンゼン</td> <td>その他（ ）</td> </tr> </table> ※測定対象室及び測定箇所数： ※測定方法（※パッシブ法 ・アクティブ法） ※報告書 2部 14 特別な材料の工法 ※公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 ⑮ 騒音・振動の防止 ※低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。 ⑯ 排出ガス対策建設機械の使用 ※排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。 ⑰ 工事写真 着工時 ― 敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。（E版1部） 工事中 ― 進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠えり又は埋設される部分は被写体に中広テープを添えて撮影する。（E版1部） ⑱ 完成図 ※作成する（※完成図 ・保全に関する資料） (1.8.2) ※完成図作図範囲（すべての図面） 完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 C A Dによる作成（※要 ・不要）ただし、作成できない場合は監督員との協議による。 C A Dデータの提出（※要 ・不要）ただし、提出できない場合は監督員との協議による。		ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	スチレン	エチルベンゼン	パラジクロロベンゼン	その他（ ）																																																																																																														
ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	スチレン	エチルベンゼン	パラジクロロベンゼン	その他（ ）																																																																																																																		
II 建築改修工事仕様 1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（平成31年度版）」「公共建築改修工事標準仕様書（平成31年度版）」（以下「改修仕」）による。 2. 特記仕様 (1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○の付いたものを適用する。 ○印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3)特記事項に記載の（ ）内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。		⑳ 完成写真 ※台紙貼り1部（A4～A7版） ・7A～7M1部（大きさ335mm×290mm程度、A4～A7版） ※箇所数は外観4面各室2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ㉑ 設備工事との取合い 施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。 ㉒ 養生その他 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共に在来にならない補修する。 ㉓ 事故報告 工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発生報告書を監督員に速やかに提出すること。																																																																																																																						
章 項 目 1 一般共通事項 ① 適用基準等 ○公共建築工事標準仕様書 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成31年度版） ○公共建築改修工事標準仕様書 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成31年度版） ○建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年度版） ② 書類の書式等 ※施工体制台帳及び施工体系図の作成については、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従ってこれを行うとともに、監督職員に提出する。(1.1.5) ③ 疑義に対する協議等 ※設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合、並びに設計図書に記載されていない見え隠れ部分に不都合が認められた場合は、監督職員と協議する。(1.1.8) ④ 工事関係図書 ※工事の着手に先立ち以下のものを作成し、監督職員の承諾を受ける。(1.2.1～1.2.3) 1) 実施工程表 2) 施工計画書 3) 施工図等 ※工事の記録は監督職員の指示した事項及び監督職員と協議した結果について記録を準備する。(1.2.4) ⑤ 工事現場管理 ※設計図書に適合する工事事務物を完成させるために、施工管理体制を確立し品質、工程安全等の施工管理を行う。(1.3.1) ・施工管理技術者 ※適用する (1.3.2) ・電気保安技術者 ※適用する (1.3.3) ⑥ 施工条件 ※ 学校を運営しながらの工事となるため、工程については学校と充分協議調整を行うこと 施工不可能日 ※ 12月2日（水） 学校行事のため終日工事は中止 ○監督員と協議し決定する。(1.3.5) 施工可能日 ※指定なし ・休館日 施工可能時間帯 ※ 8時30分 ～ 17時 資材搬入時間帯 ※ 9時 ～ 12時 工事車両の駐車場 ※指定なし ○敷地内駐車場（仮設計画図図示）		2 仮設工事 ① 外部足場 外部足場の種別 くさび緊結式足場（手すり先行工法） 外部足場の保護シート等による養生 ※適用する ・適用しない (2.2.1) ② 材料、撤去 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 (表2.2.2) ③ 既存アライメント等の養生 養生方法 ※塗替え改修部は、テープ剥着（レベル共）とする。(2.3.1) 保管場所 ※構内既存施設内 ④ 仮設間仕切り ・A種 ・B種 ※C種 (2.3.2)(表2.3.1) 合板又は石膏ボードの塗装 ・行う ※行わない ⑤ 監督員事務所 ・構内建物内の一部を使用する。(2.4.1) ・設置する 監督職員事務所の規模(単位:m) 面積 ・15㎡程度 ・20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度 監督員事務所の仕上げ 部位等 仕上げ 床 合板張り又はビニル床シート張り 内壁・天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシ塗り 屋根 装飾垂壁めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合板塗り ※設けない ⑥ 監督員事務所の備品等 ・机椅子・書棚黒板・製図板・掛け時計・温度計 (2.4.1)(b) ・ゴム長靴・雨カッパ・保護帽・懐中電灯 ・加入電話の付属電話機（請負者が本電話機を設置する場合） ・衣類ロッカー・冷暖房機器・消火器・湯沸器・掃除具 ⑦ 危険物貯蔵所 ※塗料、油類等の引火性材料の貯蔵所は関係法令等に従い適切な規模、構造、設備を備えたものとする。尚、やむを得ず工事的物の一部を置場として使用する場合には監督職員の承諾を受ける。(2.4.2) ⑧ 受注者事務所 ※設置する 受注者事務所の規模(単位:m) 10 ㎡程度 (2.4.1) 2.4.3) ⑨ 材料倉庫 ㎡程度 ⑩ 交通誘導員 ○配置する（2日×1人＝2人） ・配置しない ※平日、土曜、午前8時～午後17時の間で、大型の重機、及び車輛または大型資材搬入時に、敷地入口付近に配置 ⑪ 仮設便所 ○取取り式：小便器、大便器×各1棟（工事用、施設利用者・職員用各々）、程度 ⑫ 工事用水 構内既存の施設 ○利用できる ○有償 ・無償 ※利用できない ⑬ 工事用電力 構内既存の施設 ○利用できる ○有償 ・無償 ※利用できない 14 その他																																																																																																																						
特 記		3 防水改修工事 1 7mm防水 (3.2.2)(表3.3.1～表3.4.2) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1</td> <td>・B-2</td> </tr> <tr> <td>・P1BI</td> <td>・B1-1</td> <td>・B1-2</td> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1</td> <td>・A-2</td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・A1-1</td> <td>・A1-2</td> </tr> <tr> <td>・POD</td> <td>・D-1</td> <td>・D-2</td> </tr> <tr> <td>・T1BI</td> <td>・B1-1</td> <td>・B1-2</td> </tr> <tr> <td>・PODI</td> <td>・D1-1</td> <td>・D1-2</td> </tr> <tr> <td>・M3DI</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4DI</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D</td> <td>・D-1</td> <td>・D-2</td> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1</td> <td>・C-2</td> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td>・E-2</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-1</td> <td>・AS-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・AS-3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・屋上</td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-4</td> <td>・AS-5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・AS-6</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・AS1-1</td> <td>・AS1-2</td> </tr> </table> 2 保護層等 断熱層工法の断熱材（P1BI、P2AI及びT1BI工法） (3.3.2)(h) 材 質 ・発泡プラスチック保温材（JIS A9511） 厚 さ (mm) ・25（両面スキン層付き、特定フロンを含まないもの） 施工標準 ・設ける ・設けない 脱気装置（POD及びM3D） (3.3.3)(b)(2) ・設ける ・設けない 伸縮目地 ・アスファルト注入目地 (3.3.5)(f) ・既存目地 寸法 (mm) 25×70 製造所（製品名） 3 合成高分子系 ルーフグランド防水 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・POS</td> <td>・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POSI</td> <td>・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4S</td> <td>・S-M3(S1-M3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4SI</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3SI</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4SI</td> <td>・S-M3(S1-M3)</td> <td></td> </tr> </table> 脱気装置 ・設ける ・設けない 4 塗膜防水 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 脱気装置 ・設ける ・設けない 5 既存塗膜防水層 表面の仕上塗装 (L4X) ・行う ・行わない (3.2.6)(c)(6) 6 7mm以上製安木 部材の種類 (3.9.2)(c)(表3.9.1) ・押出200形 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ型 (本体幅 mm、板厚 ※2.0mm ・ mm、固定間隔 mm) 表面処理 ※A-1又はB-1 ・ (3.9.2)(d) 7 シーリング用材料 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 種</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・SR-1</td> <td>シリコン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SR-2</td> <td>シリコン系</td> <td>ガラス廻り</td> </tr> <tr> <td>・MS-2</td> <td>変成シリコン系</td> <td>サイディング取合部</td> </tr> <tr> <td>・PS-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-1</td> <td>アクリル系</td> <td></td> </tr> </table> シーリング材の試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (3.7.8) ・行わない		工 法	種 別	施 工 箇 所	・P1B	・B-1	・B-2	・P1BI	・B1-1	・B1-2	・P2A	・A-1	・A-2	・P2AI	・A1-1	・A1-2	・POD	・D-1	・D-2	・T1BI	・B1-1	・B1-2	・PODI	・D1-1	・D1-2	・M3DI			・M4DI			・M3D	・D-1	・D-2	・M4C	・C-1	・C-2	・P1E	・E-1	・E-2	・P2E			・M4AS	・AS-1	・AS-2			・AS-3			・屋上	・M3AS	・AS-4	・AS-5			・AS-6	・POAS				・AS1-1	・AS1-2	工 法	種 別	施 工 箇 所	・POS	・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)		・POSI	・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)		・S4S	・S-M3(S1-M3)		・S4SI			・S3S	・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)		・S3SI			・M4S	・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)		・M4SI	・S-M3(S1-M3)		工 法	種 別	施 工 箇 所				工 法	材 種	施 工 箇 所	・SR-1	シリコン系		・SR-2	シリコン系	ガラス廻り	・MS-2	変成シリコン系	サイディング取合部	・PS-2	ポリウレタン系		・PU-2	ポリウレタン系		・AC-1	アクリル系	
工 法	種 別	施 工 箇 所																																																																																																																						
・P1B	・B-1	・B-2																																																																																																																						
・P1BI	・B1-1	・B1-2																																																																																																																						
・P2A	・A-1	・A-2																																																																																																																						
・P2AI	・A1-1	・A1-2																																																																																																																						
・POD	・D-1	・D-2																																																																																																																						
・T1BI	・B1-1	・B1-2																																																																																																																						
・PODI	・D1-1	・D1-2																																																																																																																						
・M3DI																																																																																																																								
・M4DI																																																																																																																								
・M3D	・D-1	・D-2																																																																																																																						
・M4C	・C-1	・C-2																																																																																																																						
・P1E	・E-1	・E-2																																																																																																																						
・P2E																																																																																																																								
・M4AS	・AS-1	・AS-2																																																																																																																						
		・AS-3																																																																																																																						
		・屋上																																																																																																																						
・M3AS	・AS-4	・AS-5																																																																																																																						
		・AS-6																																																																																																																						
・POAS																																																																																																																								
	・AS1-1	・AS1-2																																																																																																																						
工 法	種 別	施 工 箇 所																																																																																																																						
・POS	・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)																																																																																																																							
・POSI	・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)																																																																																																																							
・S4S	・S-M3(S1-M3)																																																																																																																							
・S4SI																																																																																																																								
・S3S	・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)																																																																																																																							
・S3SI																																																																																																																								
・M4S	・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)																																																																																																																							
・M4SI	・S-M3(S1-M3)																																																																																																																							
工 法	種 別	施 工 箇 所																																																																																																																						
工 法	材 種	施 工 箇 所																																																																																																																						
・SR-1	シリコン系																																																																																																																							
・SR-2	シリコン系	ガラス廻り																																																																																																																						
・MS-2	変成シリコン系	サイディング取合部																																																																																																																						
・PS-2	ポリウレタン系																																																																																																																							
・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																							
・AC-1	アクリル系																																																																																																																							
特 記		承認 検図 設計 製図 作図年月日 R2. 8. 31 訂正年月日 図面番号 A- 1 種別																																																																																																																						
工 事 名 称 青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事		図 面 名 称 特記仕様書①																																																																																																																						
縮 尺		縮 尺																																																																																																																						

7 鋼製軽量建具	鋼製軽量建具の性能等級 建具表による (5.4.2)	種類	気密性	
	種類	遮音性	種類	断熱性
	種類	面内変形追随性		
8 ステンレス製建具	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)	種類	気密性	水密製
	種類	遮音性	種類	断熱性
	種類	面内変形追随性		
9 建具用金物	曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ (5.5.5)			
	金物の見掛け部等の材質 (5.6.2)	改標仕表5.6.1(その1)(その2)による		
10 自動ドア	開閉方法 (5.7.3)	・スライディングドア(・片引き ・引分け)		
	開閉装置 (5.7.2)(b)(1)	・スイングドア (・片開き ・両開き)		
11 重量シャッター	スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (5.7.2)(b)(2)	改標仕表5.7.2による (・)		
	センサの種類 (5.7.3)(表5.7.3)	・マトスイッチ ・電子(電磁)スイッチ ・光線(反射)スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ ・ペダルスイッチ ・押しボタンスイッチ		
	凍結防止措置 ・行う ・行わない (5.7.3(f))			
	種類 (5.9.2)	・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター		
12 軽量シャッター	耐風圧強度 (5.9.2)(表5.9.1)	・50 ・80 ・120		
	開閉機能 (5.9.2)(表5.9.1)	・上部電動式(手動併用) ・上部手動式		
	シャッターケース (5.9.2)(表5.9.1)	・設置する ・設置しない		
	開閉形式 (5.10.2)(表5.10.1)	・上部電動式(手動併用) ・手動式		
13 オートドア	耐風圧強度 (5.10.2)(表5.10.1)	・50 ・65 ・80		
	スラットの材質及び形状 (5.10.2)(表5.10.1)	・材質 () ・インターロック形 ・オーバーラッピング形		
	型式及び機構 (5.11.2)	セクション材料 ・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ		
	開閉方式 (5.11.3)	・バランスタイプ ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形		
ガイドレール (5.11.3)				
・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板				
14 ガラス (5.12.2(a))				
板ガラス (5.12.2(a))				
厚さ 備考				
・フロート板ガラス 5mm				
・型板ガラス 4mm				
・網入り板ガラス 6.8mm ひし網 ・角網				
・線入り板ガラス				
材料板ガラスの種類及び厚さ等				
・合わせガラス				
・強化ガラス 4mm(学校用) 磨板、型板				
・熱線吸収板ガラス				
・複層ガラス				
・熱線反射ガラス 反射皮膜 ・内面 ・外面				
・倍強度ガラス				
15 ガラスとめ材 (5.12.2(b))				
建具の種類 種類				
アルミニウム製 ・ガスケット グレイジングチャンネル形 (枠見込み70mmの引違い、片引き障子の場合)				
シーリング材				
鋼製 ・シーリング材 ・ガスケット				
ステンレス製 ・シーリング材				
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (5.12.1による(枠見込み70mmの7割以上鋼製建具の場合(強化、合わせ、倍強度ガラスを用いる場合を除く))				
⑩ オペレーター装置 既存アルミサッシ(AW3・AW4)にオペレーター装置を取付け 参考品番:株式会社 豊和 MD-GF露出(FH)				
6 内装改修工事	① 一般事項 (6.1.3(b))			
	改修部分	改修範囲		
	○天井	図示による		
	○壁	図示による		
○床	図示による			
天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 (6.1.3(c)) (図示による)				
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 (6.1.3(f)) (行う(図示による) ・行わない)				
2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2(a)(1))				
既存床仕上げ材の除去等				
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 行う ・行わない				
合成樹脂塗床材の除去等 (6.2.2(a)(2))				
・機械的除去工法 ・目荒工法				
改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(c))				
施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ()				
3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)				
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 (図示による)				
表面仕上げ ・A種 ・B種 ・C種 (6.5.1(c))(表6.5.1)				
④ 木下地等 (6.5.2(a)(1))(表6.5.2)				
木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)				
部材、下地材 種別				
構造材、下地材 A種 ・B種				
造作材 A種 ・B種				
構造材及び下地材の等級 (6.5.2(a)(2)())				
部材名称 等級 部材名称 等級 部材名称 等級				
胴縁 小節				
土台 小節				
頭繋ぎ 小節				
管柱、半柱 上小(見掛り)				
造作材の等級 (6.5.2(a)(2)())(表6.5.3)				
使用箇所 部材名称 等級				
生地のまま A種(ただし、見掛かり面)				
又は B種				
透明塗料塗りの場合 A種 ・B種				
不透明塗料塗りの場合 A種 ・B種				
代用樹種の使用 ・禁止する ○禁止しない (6.5.2(a)(3))				
集材 (6.5.2(b)(c))				
ホルムアルデヒドの放散量 (6.8.2)				
F ・F				
構造用集材 (6.8.2(a))				
部材名称 品名 強度等級 材面の品質 樹種名 接着性能				
造作用集材 (6.8.2(b))				
部材名称 等級 単材の樹種 厚さ				
化粧びり造作用集材 (6.8.2(c))				
表面仕上材の化粧板の樹種() 厚さ()				
ホルムアルデヒドの放散量 (6.8.2(d))				
F ・F				
床張り用合板 (6.8.2(e))				
厚さ5.5mm合板の接着程度()				
防菌処理 ・施工する() ・施工しない				
防び処理 ・施工する ・施工しない				
⑤ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)(表6.7.1)				
スタッド、ランナーなどの種類				
・45形				
・65形				
・90形				
・100形				
⑥ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)(表6.6.1)				
野縁等の種類 (6.6.2)(表6.6.1)				
部材 種類 備考				
・シングル野縁 ・19形 ・25形 屋外25形				
・ダブル野縁 ・19形 ・25形				
・野縁受け ・19形 ・25形				
○野縁等はメーカー基準による				
既存埋込みインサート (6.6.4(a)(1))				
・使用する(引張試験) 使用しない				
7 ビニル床シート、ビニル床材及びゴム床材張り (6.8.2)				
材料 (6.8.2(a))				
・ビニル床シート 【JIS A5705(ビニル系床材)】				
・抗菌性ビニル床シート				
種類の記号 機能・場所 厚さ 備考				
FS 各トイロ 2.0				
・防滑性ビニル床シート (6.8.2(b))				
種類の記号 機能・場所 厚さ 備考				
FS ホール、廊下、倉庫 2.5				
・ビニル床タイル 【JIS A5705(ビニル系床材)】 (6.8.2(b))				
種類 厚さ 備考				
・帯電防止床シート (6.8.2(c)(1))				
種類 性能 厚さ 備考				
・帯電防止床タイル (6.8.2(c)(1))				
種類 性能 厚さ 備考				
・視覚障害者用床タイル (6.8.2(c)(2))				
種類 形状 備考				
・その他 (6.8.2(c)(3))				
種類 性能 厚さ 備考				
・ビニル幅木 (6.8.2(d))				
厚さ 高さ 備考				
・ゴム床タイル (6.8.2(e))				
色 柄 厚さ 備考				
工法 (6.8.3(a))				
下地 (6.8.3(b))				
・モルタル下地 ・木下地 ・その他(土間コン下地)				
ビニル床シート張り (6.8.3(b))				
熱溶接工法 ・適用する ・適用しない				
8 合成樹脂塗床材 (6.8.3(b))				
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 (6.10.2(b))(表6.10.3)				
F ・F				
弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、行程 (6.10.3(c))(表6.10.4-6.10.7)				
平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ				
エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類 (6.10.3(c))(表6.10.4-6.10.7)				
・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂砂仕上げ ・防滑仕上げ				
9 フローリング張り (6.11.4)(表6.11.1)				
ホルムアルデヒドの発散量 (6.11.4)(表6.11.1)				
F ・F				
・モルタル埋込み工法 (6.11.4)(表6.11.1)				
フローリングブロック(単位:mm)				
樹種 厚さ 大きさ 備考				
なら 15 303x303 辺材部分には、防虫処理を行う。				
・				
・釘留め工法 (6.11.5)(表6.11.2)(表6.11.3)				
材 種 種 別 種 別 樹 種				
・フローリングボード(根太張用) 洋材				
・複合フローリング(根太張用) ・1種 ・A種				
・無垢フローリング(根太張用) ・2種 ・B種				
・3種 C種				
・接着工法 (6.11.6)(表6.11.1)(表6.11.2)(表6.11.4)				
材 種 樹 種				
・フローリングボード(直張用) なら				
・フローリングブロック(直張用) ・				
・複合1種フローリング(直張用)				
・複合2種フローリング(直張用)				
・複合3種フローリング(直張用)				
材 種 樹 種 厚 さ 大 き さ				
・モザイクバケット(直張用) ・ ・ ・				
10 畳敷き (6.11.7(b))				
塗装 (6.11.7(b))				
・ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)				
水性ウレタンクリヤ(床用)塗のうえワックス塗り (防水性A・B・C程度)				
・生地のままワックス塗り				
⑩ 天井耐震対策 (6.12.2)(表6.12.1)				
種別 A種 ・B種 ・C種 ・D種				
○地震対策直張り天井システム				
参考品番:三洋工業株式会社 S Zセイバー高断熱タイプ				
○地震対策天井システム m ² 当たり2.0kg以下				
参考品番:三洋工業株式会社 フェノバS Z耐震高熱タイプ				

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検閲	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	特記仕様書					R2. 8.31	A-3
	縮尺						訂正年月日	種別

11	カーベツト	敷き織じゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)	種別	パイル形状	帯電性	品質の程度	
		・A種	・カットパイル	※人体耐電圧			
		・B種	・ループパイル	3KV以下			
		・C種	・カット、ループ併用	・			
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		タフテッドカーベツト (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)					
		パイル形状・カット	パイル長さ(mm)	帯電性	工法	品質の程度	
		・カットパイル	・	※人体耐電圧	※全面接着工法		
		・ループパイル	・	3KV以下	・ゲリッパ-工法		
		・レールパイル、ループ併用	・	・	・		
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
ニードルパンチカーベツト (6.9.2)(d)(2)							
厚さ(mm)	帯電性		備考				
・	※人体耐電圧3KV以下		・				
タイルカーベツト (6.9.2)(表6.9.2)							
パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)	品質の程度			
・カットパイル	※500×500	※6.5	・適用しない				
※ループパイル	・	・	・				
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。							
敷き方 (6.9.3)(d)(2)							
平場	※市松敷き	・模様流し	・				
階段部分	・市松敷き	※模様流し	・				
⑩ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2)(表6.13.1)							
名称	種類	規格、区分等	厚さ(mm)				
せ っ こ う ボ ー ド 製 品	・せっこうボード(GB-R)		壁	・9.5(準不燃)			
			※12.5(不燃)				
	天井	・9.5(準不燃)					
	・12.5(不燃)						
	・シージングせっこうボード(GB-S)		・9.5(準不燃)	※12.5(不燃)			
	・強化せっこうボード(GB-F)		・12.5(不燃)				
	・せっこうボード(GB-L)		※9.5				
	・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	模様なし	※9.5(不燃)				
	・化粧せっこうボード(GB-D)	普通	・トラバーチン	※9.5(準不燃)・12.5(不燃)			
	・木目模様	・木目模様	※9.5(準不燃)・12.5(不燃)				
吸 音 材	・ロックウール吸音ボード(RW-B)	1号	・2.5				
	・ガラスウール吸音ボード(GW-B)	2号 3.2K	・2.5ガラスクロス包				
	・ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 軒天用	普通 立体模様	・9.0(不燃)・12.0 ・12.0(不燃)・			
繊維強化セメント	・ケイ酸ガラス板(KF)		※6.0				
合 板	特殊合板	・突板化粧合板	・なら	化粧単板			
		・	・しおじ	※0.3未満			
	難燃合板	・特殊加工化粧合板	※ケイ酸ガラス化粧合板	※3.0	板 ※6.0		
		・	・	・	・		
・シナベニヤ直仕上(塗装他)	※1類(水廻り)	※5.5・9.0(体育館)	・有孔(寒冷紗裏貼品)				
・ラワンベニヤ	※1類(水廻り)	※5.5・12.0	・				
・パーティクルボード	※2類(一般部)	・					
○化粧合板張り			○5.0				
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ F☆☆☆							
遮音シール材 (6.13.2)(h) ・適用する(・アクリル系シーリング材・ジョイントコンパウンド) ・適用しない							
13	壁紙張り	ホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ F☆☆☆ (6.14.2)	施工箇所	品質の程度	防火種別		
		玄関、ホール、廊下	AA級	※不燃・準不燃・難燃			
				・不燃・準不燃・難燃			
				・不燃・準不燃・難燃			
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		14 珪藻土塗り (6.15.3)					
		既成目地材 (形状)					
		伸縮調整目地 (6.16.2)					
		位置・図示					
		タイルの種類 (6.16.3)					
		施工箇所	形状・寸法(mm)	きじ	うわぐすり	役物	色
		磁器	磁器	あり	標準		
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。							
試験張り、見本焼き等 (6.16.3)(a)(3)							
試験張り・行う ※行わない							
見本焼き・行う ※行わない							
16 断熱材 (6.16.1)(表6.16.6)(表6.16.7)							
工法							
・積上げ張り							
・壁タイル接着剤張り							
17	断熱材	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ F☆☆☆ (9.5.2)	種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	
		断熱材打込み工法	・ビーズ法ガラスフォーム	・	・		
			・押出法ガラスフォーム	・保温板2種b	・2.5		
			・	・保温板3種b	・2.5		
			・硬質ウレタンフォーム	・	・		
			・ポリウレタンフォーム	・	・		
		上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。					
		断熱材現場発泡工法 (9.5.3)					
		難燃性	厚さ(mm)	施工箇所			
		・2級	・2.5	※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所			
		・3級	・	・			
上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。							
7	塗装改修工事	壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ F☆☆☆					
		① 材料	建物内部に使用する377樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ F☆☆☆ (7.1.3)(a)				
		② 下地調整	※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)				
			・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)				
		種類 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)					
		下地	種別				
		○木部	・RA種 ※B種・RC種				
		○鉄鋼面	・RA種 ※B種・RC種				
		・垂れめつき面	・RA種 ※B種・RC種				
		・モルタル面、プaster面	・RA種 ※B種・RC種				
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※B種・RC種				
・押出成形セメント板面	・RA種 ※B種・RC種						
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※B種・RC種						
※水性シーラー・変性エポキシ樹脂プライマー							
3 錆止め塗料塗り	塗料種別 (7.3.2)(表7.3.1)	鉄鋼面錆止め塗料 ※A種(屋外、屋内)・B種(屋内)・C種(屋内) JIS K 5625 JIS K 5621 JPMS-21 (7.3.3)(表7.3.3~7.3.4)					
錆止め塗料塗り種別							
鉄鋼面 ※A種・B種 ※C種							
垂れめつき面 ※A種・B種 ※C種							
④	合成樹脂調査	④ 合成樹脂調査 (7.4.2)	ペイント塗り (SOP)				
		種類 (7.4.3~7.4.5)(表7.4.1~7.4.3)					
		下地	種別				
		・木部	・A種 ※B種・C種				
		○鋼鉄面(構造材、建具等)	・A種 ※B種・C種				
		・垂れめつき面	・A種・B種・C種				
		5 フタル酸樹脂 (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.2)					
		5 フタル酸樹脂 (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.2)					
		種類 (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.2)					
		下地	種別				
		・木部	・A種 ※B種・C種				
・鉄鋼面及び垂れめつき面	・A種 ※B種・C種						
6 アクリル樹脂系 (7.6.2)(表7.6.1)							
6 アクリル樹脂系 (7.6.2)(表7.6.1)							
種類 (7.6.2)(表7.6.1)							
下地調整	・RA種・RB種・RC種 (7.7.2)(表7.7.1)						
種類	・A種 ※B種・C種 (7.7.3)(表7.7.1)						
7 アクリル樹脂系 (7.7.2)(表7.7.1)							
7 アクリル樹脂系 (7.7.2)(表7.7.1)							
種類 (7.7.2)(表7.7.1)							
下地調整	・RA種・RB種・RC種 (7.7.2)(表7.7.1)						
種類	・A種 ※B種・C種 (7.7.3)(表7.7.1)						
8 2液形エポキシ樹脂系 (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.3)							
8 2液形エポキシ樹脂系 (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.3)							
種類 (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.3)							
鉄鋼面	※A種・B種						
垂れめつき面	※A種・B種						
コンクリート及び押出成形セメント板面	・A種・B種						
9 アクリル樹脂系 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.3)							
9 アクリル樹脂系 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.3)							
種類 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.3)							
鉄鋼面	・A種・B種						
垂れめつき面	・A種・B種						
コンクリート及び押出成形セメント板面	・A種・B種						
10 常温乾燥形 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.3)							
10 常温乾燥形 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.3)							
種類 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.3)							
鉄鋼面	・A種・B種						
垂れめつき面	・A種・B種						
コンクリート及び押出成形セメント板面	・A種・B種						
11 つや合成樹脂 (7.11.2)(表7.11.1)							
11 つや合成樹脂 (7.11.2)(表7.11.1)							
種類 (7.11.2)(表7.11.1)							
しみ止め	※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う (屋内鉄部 程度 木部 程度)						
12 合成樹脂エポキシ樹脂系 (7.12.2)(表7.12.1)							
12 合成樹脂エポキシ樹脂系 (7.12.2)(表7.12.1)							
種類 (7.12.2)(表7.12.1)							
しみ止め	※下塗りに先立ち水性シーラー処理を行う (屋内RC、モルタル、ボード面等 程度)						
13 多彩模様 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)							
13 多彩模様 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)							
種類 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)							
コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、木部							
鉄鋼面及び垂れめつき面	・A種 ※B種						
14 合成樹脂 (7.14.2)(表7.14.1)							
14 合成樹脂 (7.14.2)(表7.14.1)							
種類 (7.14.2)(表7.14.1)							
・A種 ※B種	・C-1種・C-2種・C-3種						
15 ウレタン樹脂 (7.15.2)(表7.15.1)							
15 ウレタン樹脂 (7.15.2)(表7.15.1)							
種類 (7.15.2)(表7.15.1)							
木部	・A種 ※B種・既設床面が掛掛けのうえ、3回塗り ※無臭変性水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内床 程度)						
⑩ グラスボード (7.16.2)(表7.16.1)							
⑩ グラスボード (7.16.2)(表7.16.1)							
種類 (7.16.2)(表7.16.1)							
木部	・A種 ※B種						
17 珪藻土塗り (7.17.2)(表7.17.1)							
17 珪藻土塗り (7.17.2)(表7.17.1)							
種類 (7.17.2)(表7.17.1)							
木部							
18 屋内水系塗料 (7.18.2)(表7.18.1)(表7.18.2)							
18 屋内水系塗料 (7.18.2)(表7.18.1)(表7.18.2)							
種類(既存塗膜がSOP、VP塗等をEP-G塗に塗替える場合) (7.18.2)							
木部	・A種 ※B種・C種 (表7.18.1)						
鉄鋼面	・A種 ※B種・C種 (表7.18.2)						
その他 ※RC、モルタル、石膏ボード面下地等の塗替え及び新規 (※11部 ※12部 ※14部) を適用とする							
19 水性珪藻土・水性珪藻土塗り (7.19.2)(表7.19.1)							
19 水性珪藻土・水性珪藻土塗り (7.19.2)(表7.19.1)							
種類 (7.19.2)(表7.19.1)							
木部	汚れ・付着物除去のうえ、水性珪藻土1回、水性珪藻土3回塗り ※顔料系木部着色材(屋内外 程度) ※無臭変性水性1液珪藻土樹脂塗料(屋内外 程度)						
20 打放し保護材 (7.20.2)(表7.20.1)							
20 打放し保護材 (7.20.2)(表7.20.1)							
種類 (7.20.2)(表7.20.1)							
・塗布	2回 (程度)						
8	雑工事	1 室名札	ステンレス製・平付型・W300×H70×D10 ※1カ所・倉庫 ※スコッチカルシート貼 ※新協和:SK-605NS-2F 程度				
		2 ビクトサイン	ステンレス製・突出型・W200×H200×D15.5 ※3カ所・男性トイレ(S-1) 女性トイレ(S-2) みんなのトイレ(T-2) ※()内は、ビクト図形番号を示す ※スコッチカルシート貼 ※新協和:SK-AS-2T 程度				
		③ 屋根葺き替え					
		カラーベスト 葺き 参考品番:KMEW コロニアルクアッド					
		承認					
		検図					
		設計					
		製図					
		作図年月日					
		R2.8.31					
		訂正年月日					
図面番号							
A-4							
種別							

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	特記仕様書④					R2.8.31	A-4
	縮尺						訂正年月日	種別



仮設計画図 S = 1 : 1000

仮設工事 凡例及び仕様	
記号	仕上
—	仮囲い ガードフェンス H = 1.8m
□	仮設事務所
○	仮設便所
↑	工事車両 進入経路

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	配置図 兼 仮設計画図					R2. 8.31	A-5
	縮尺	S = 1 : 1000					訂正年月日	種別

工 事 概 要

工事名称	青山中学校武道場吊天井耐震対策工事	都市計画区域	都市計画区域内 非線引き区域	敷地面積	41.231.30㎡	構造	鉄骨造
工事場所	伊賀市阿保 地内	用途地域	指定なし	建築面積	424.90㎡	階数	1階建て
建築主氏名		防火地域	22条地域	延床面積	424.90㎡	基礎形状	独立基礎
建築主住所		道路	幅員： m 接道長さ： m	最高軒高	4.95m		
建物用途	中学校（武道場）	建ぺい率	60%	最高高さ	7.90m		
工事種別	吊天井耐震対策工事	容積率	200%	床高	0.45m		

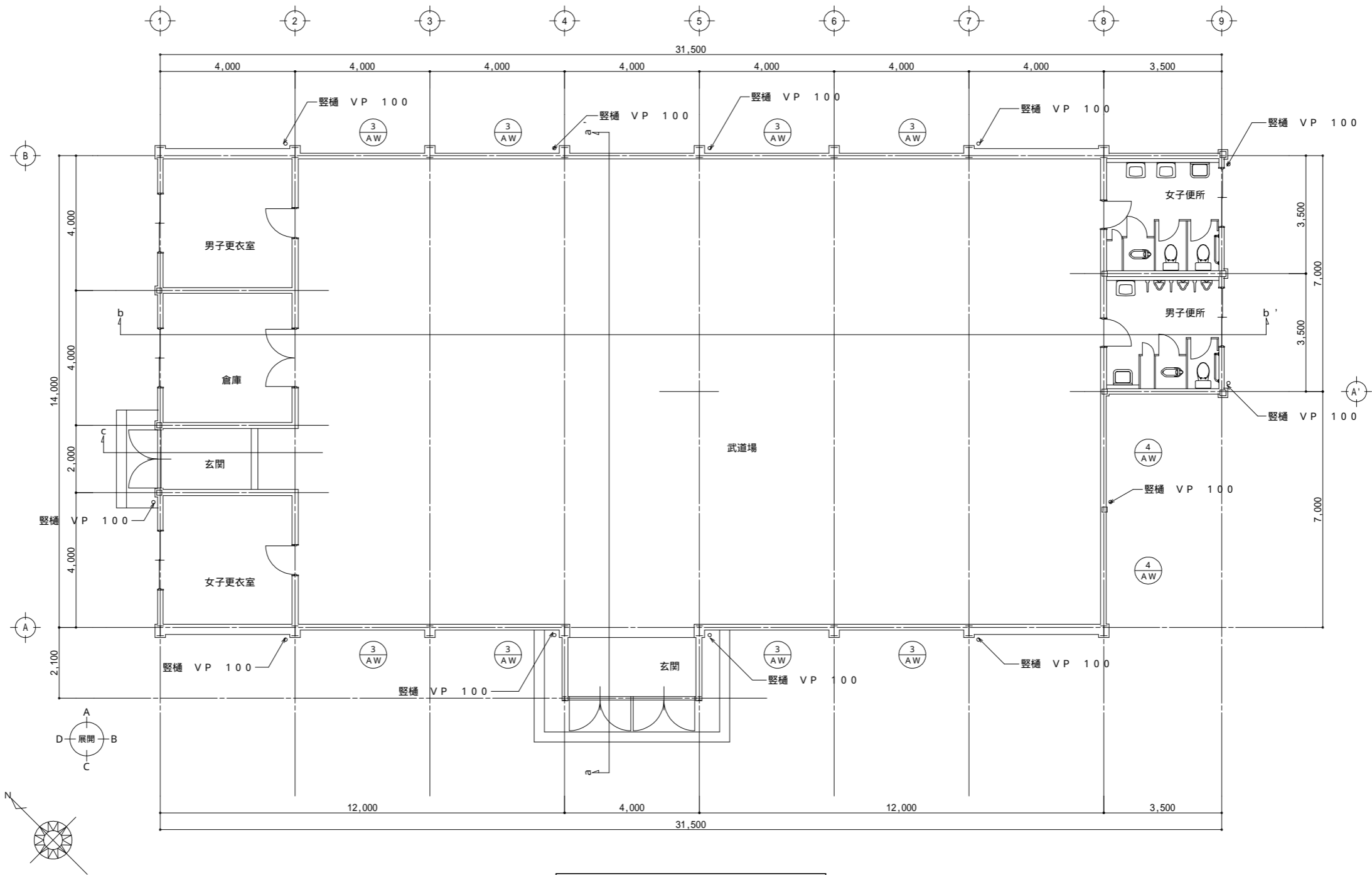
外 部 仕 上 表 ※ 今回工事では、屋根葺き替え工事のみ改修を行う。

屋根 (現況)	コロニアル葺き、アスファルトルーフィング22kg、撤去処分。野地板は既設のまま	外壁	サイディング張り	特記事項
(改修後)	コロニアル葺き替え、アスファルトルーフィング940新設	基礎巾木	ラスモルタル刷毛引き アクリルリシン吹付け	・下地、仕上材仕様は全て F☆☆☆☆ とする。
軒裏	サイディング張り	建具	アルミサッシ	
軒樋 (現況)	塩ビ 150角 撤去処分			
(改修後)	塩ビ 150角 新設			
縦樋 (現況)	VP Φ100 撤去処分			
(改修後)	VP Φ100 新設			

内 部 仕 上 表 ※ 今回工事では、天井張替え・壁一部新設工事のみ改修を行う。

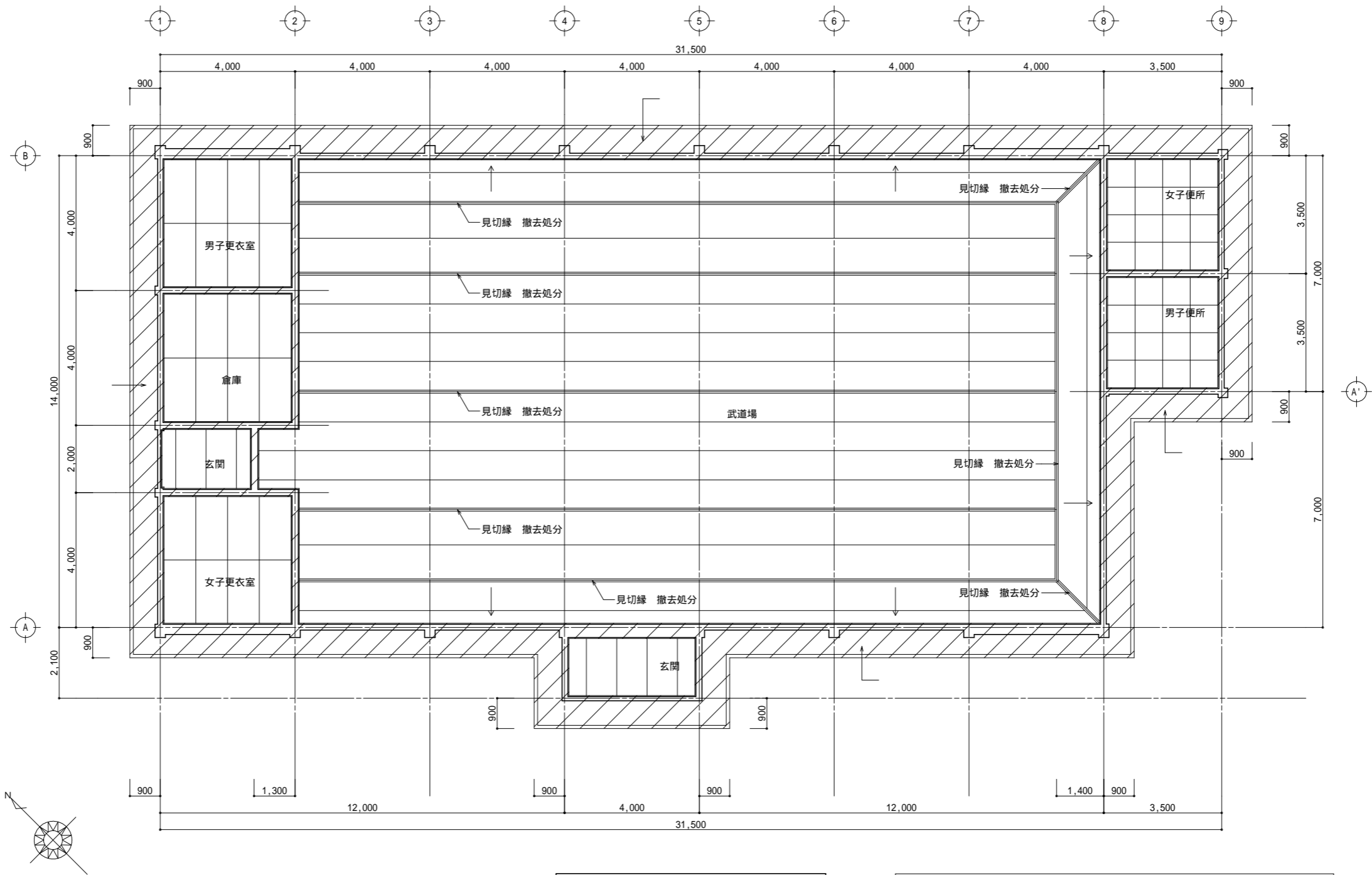
室名	床	巾木	壁	天井	天井廻り縁	天井高	備考
1階 玄関(南側)	現況	磁器質100角タイル張り、下地モルタル	磁器質100角タイル	杉 15×100 縦羽目板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地	ジブトーン厚9張り、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	2,950
	改修後				耐震断熱天井、天井下地共	アルミ製	2,950
武道場	現況	カーパフローリング厚18特殊張り、ポリウレタン塗り、コンパネ下地	杉15×100 OSCL	杉 15×100 縦羽目板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地	ジブトーン厚9張り、軽鉄天井下地 撤去処分	杉 30×45	4,000~4,500
	改修後			化粧合板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地 (FL+2,850以上)			
女子更衣室	現況	長尺シート張り、コンパネ5.5+15下地	杉15×100 OSCL	杉 15×100 縦羽目板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地	ジブトーン厚9張り、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	3,000
	改修後			化粧合板張り、CL塗り、壁軽鉄下地 (FL+4,000以上)新設	耐震天井直貼り	鋼製既製品	4,500~7,200
玄関(西側)	現況	磁器質100角タイル張り、下地モルタル	磁器質100角タイル	杉 15×100 縦羽目板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地	ジブトーン厚9張り、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	2,950
	改修後				耐震断熱天井、天井下地共	アルミ製	2,950
倉庫	現況	長尺シート張り、コンパネ5.5+15下地	杉15×100 OSCL	化粧合板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地	ジブトーン厚9張り、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	3,000
	改修後				耐震断熱天井、天井下地共	アルミ製	3,000
男子更衣室	現況	長尺シート張り、コンパネ5.5+15下地	杉15×100 OSCL	杉 15×100 縦羽目板張り、OSCL塗り、木製横胴縁下地	ジブトーン厚9張り、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	3,000
	改修後				耐震断熱天井、天井下地共	アルミ製	3,000
男子便所	現況	磁器質50角タイル張り、下地モルタル		半磁器質100角タイル張り、ラスモルタル下地 (FL+1,300まで) FB厚5.5張り、AEP塗り (FL+1,300~2,700)	FB厚5.5AEPスチブル、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	2,700
	改修後				耐震断熱天井、天井下地共	アルミ製	2,700
女子便所	現況	磁器質50角タイル張り、下地モルタル		半磁器質100角タイル張り、ラスモルタル下地 (FL+1,300まで) FB厚5.5張り、AEP塗り (FL+1,300~2,700)	FB厚5.5AEPスチブル、軽鉄天井下地 撤去処分	杉撤去処分	2,700
	改修後				耐震断熱天井、天井下地共	アルミ製	2,700

特 記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	工事概要・外部仕上表・内部仕上表					R2. 8. 31	A- 6
	縮 尺						訂正年月日	種別



1階平面図 (現況) S = 1 : 100

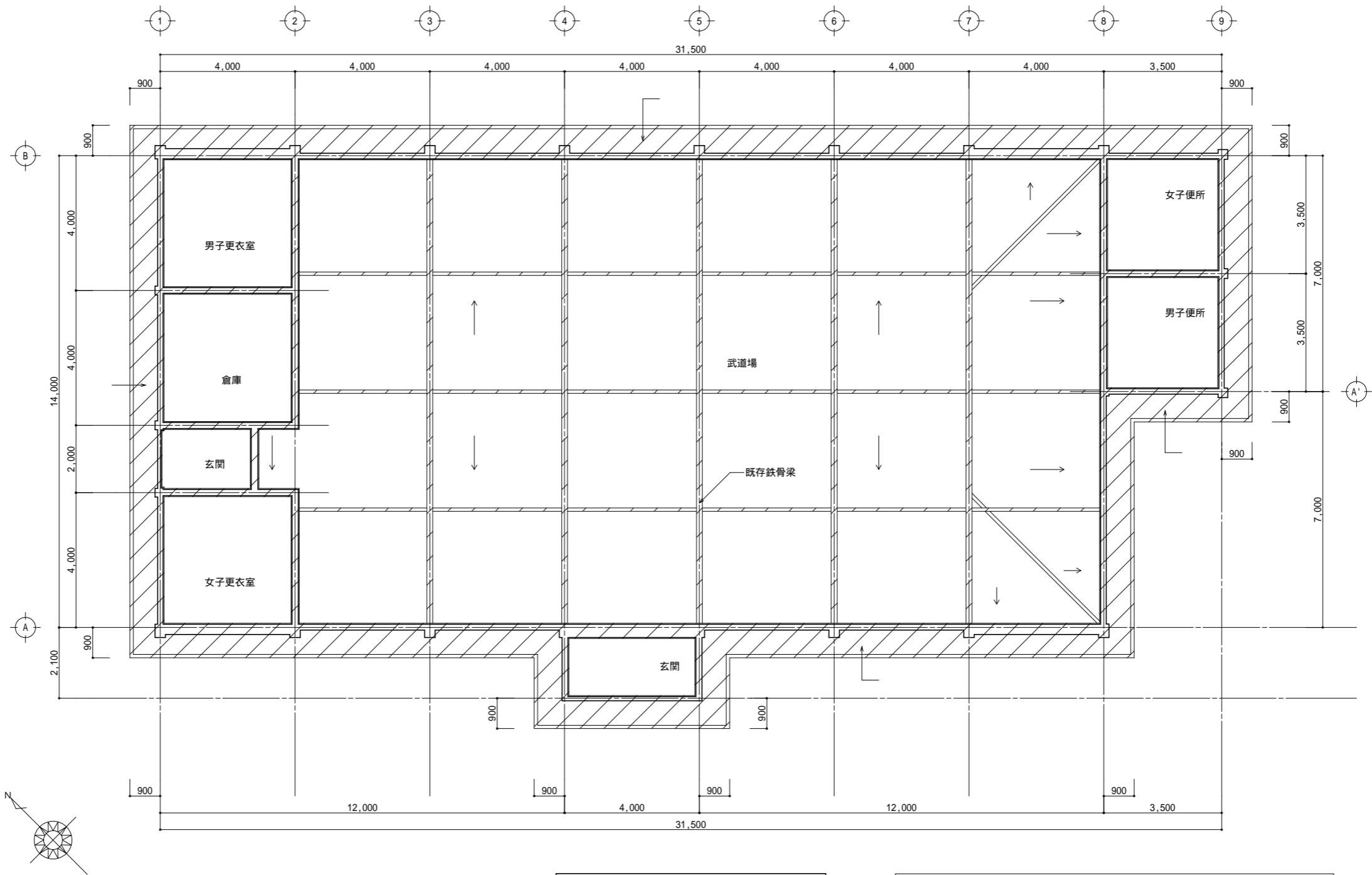
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	1階平面図 (現況)					R2. 8.31	A - 7
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



天井伏図 (現況) S = 1 : 100

記号	仕上
	軽鉄天井下地・ジブトーン厚9張り 撤去処分
	軽鉄天井下地・F B厚5.5目透し、AEPスチブル仕上 撤去処分
	軽鉄天井下地・サイディング張り
////	今回工事 範囲外を示す
	武道場以外の天井廻縁は撤去処分とする

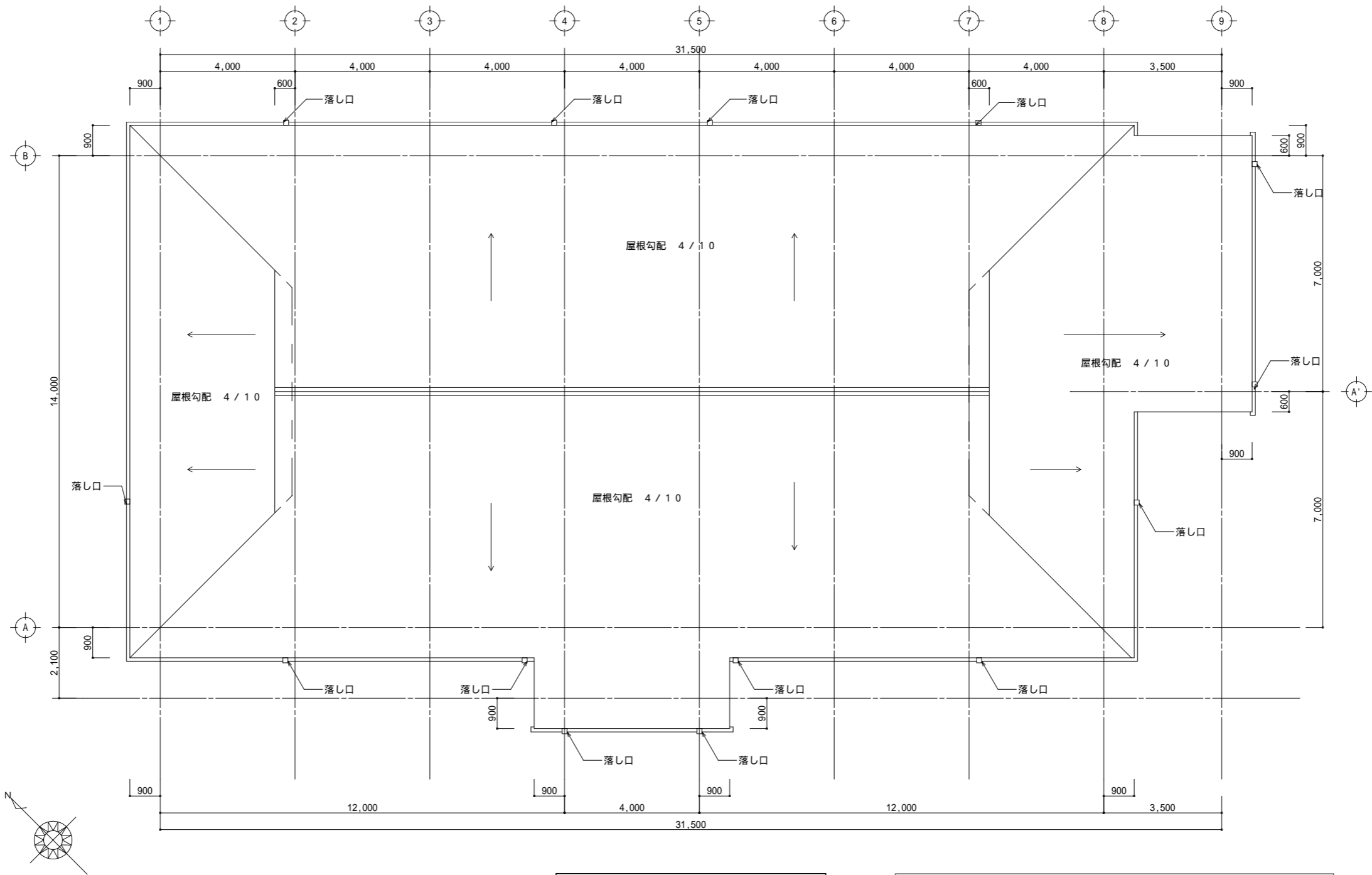
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	天井伏図 (現況)					R2. 8.31	A - 8
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



天井伏図 (改修後) S = 1 : 100

天井仕上表 (改修後)	
記号	仕上
	耐震天井直貼り 鋼製廻縁
	耐震断熱天井 アルミ製廻縁
	軽鉄天井下地・サイディング張り
	今回工事 範囲外を示す
既存鉄骨部分で改修後表しとなる部材は、塗装塗り替えとする。	
参考品番	三洋工業株式会社 SZセイバー (直貼張天井) 高断熱タイプ 厚25 三洋工業株式会社 フェノバSZ耐震断熱天井 厚25

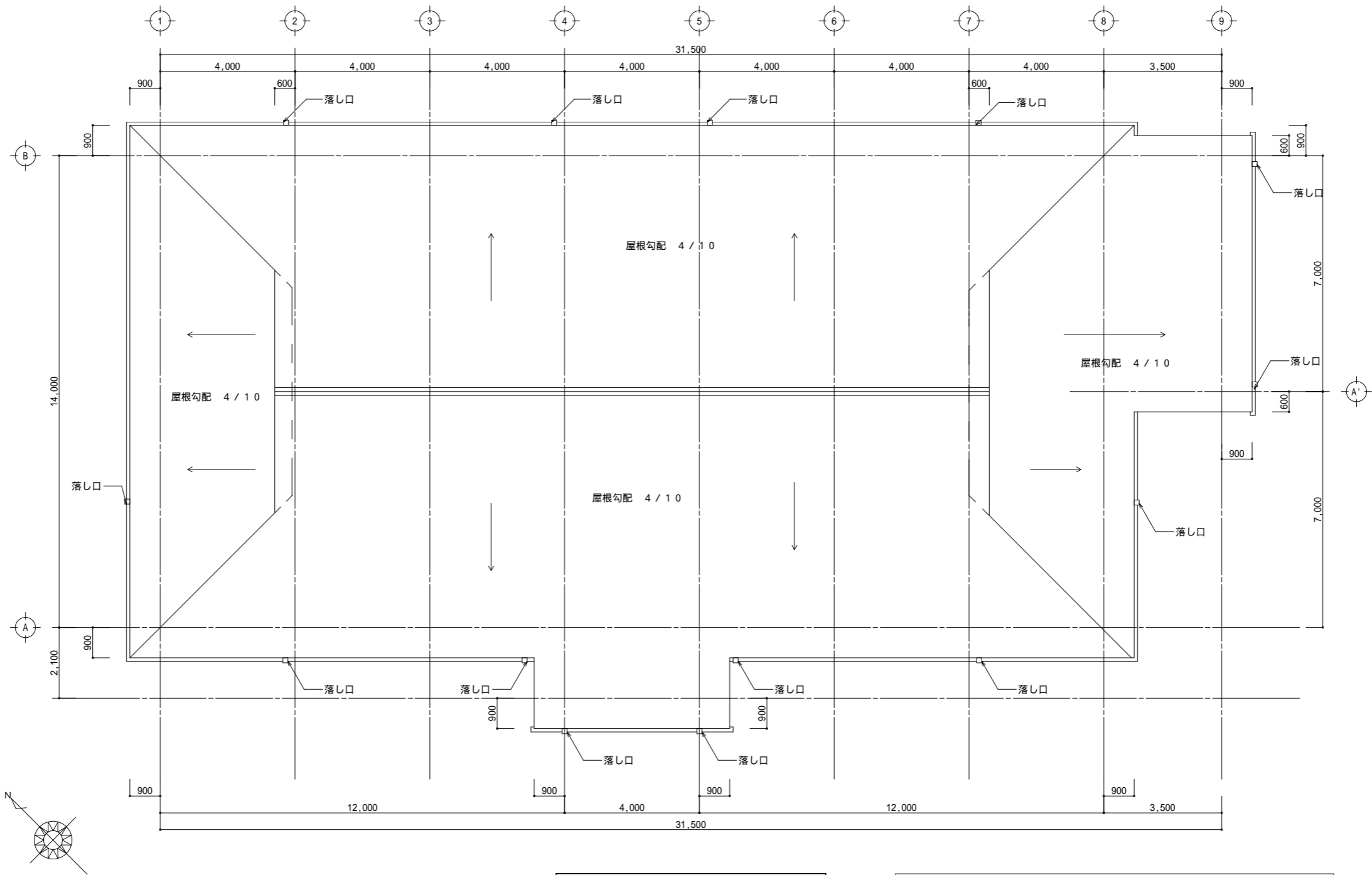
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	天井伏図 (改修後)					R2. 8.31	A-9
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



屋根伏図 (現況) S = 1 : 100

屋根仕上表 (現況)	
記号	仕上
	コロニアル葺き、アスファルトルーフィング 2.2 kg 撤去処分
	耐火野地板 厚18 既設のまま
	棟包、水切り等役物 撤去処分
	軒樋：塩ビ 角型 (前高型) 150 撤去処分
	縦樋：VP 100 撤去処分

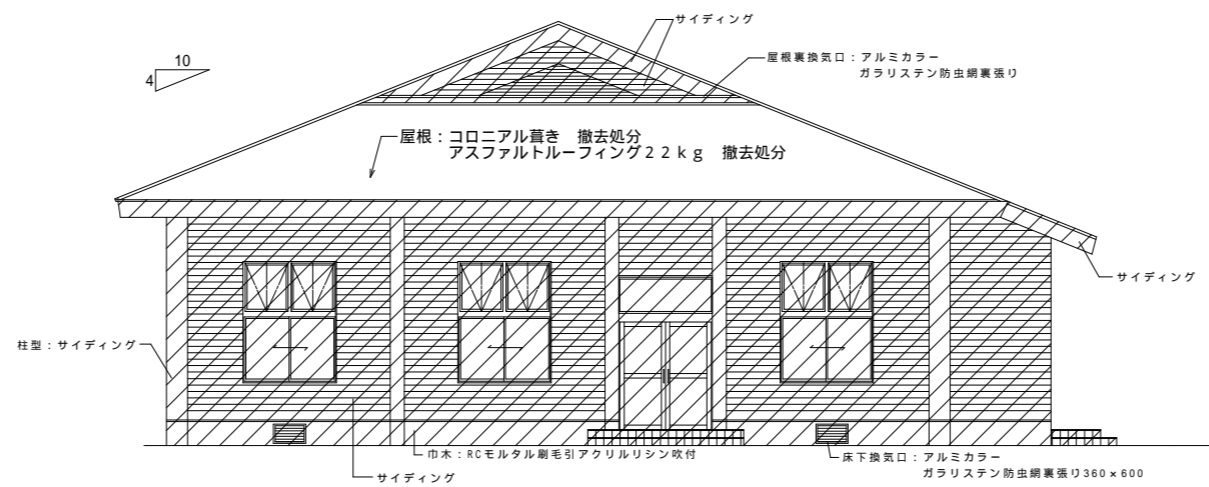
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	屋根伏図 (現況)					R2. 8.31	A-10
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



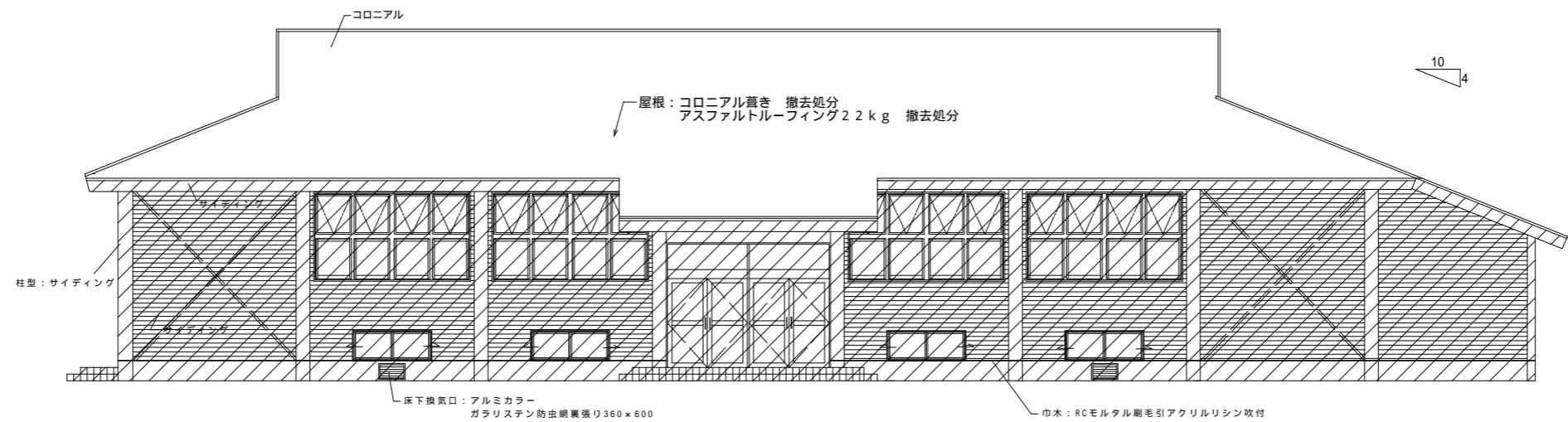
屋根伏図 (改修後) S = 1 : 100

屋根仕上表 (改修後)	
記号	仕上
	コロニアル葺き替え、アスファルトルーフィング940新設
	耐火野地板 厚18 既設のまま
	棟包、水切り等役物 新設 (既製品)
	軒樋: 塩ビ 角型 (前高型) 150 新設
	縦樋: VP 100 新設

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	屋根伏図 (改修後)					R2. 8.31	A-11
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



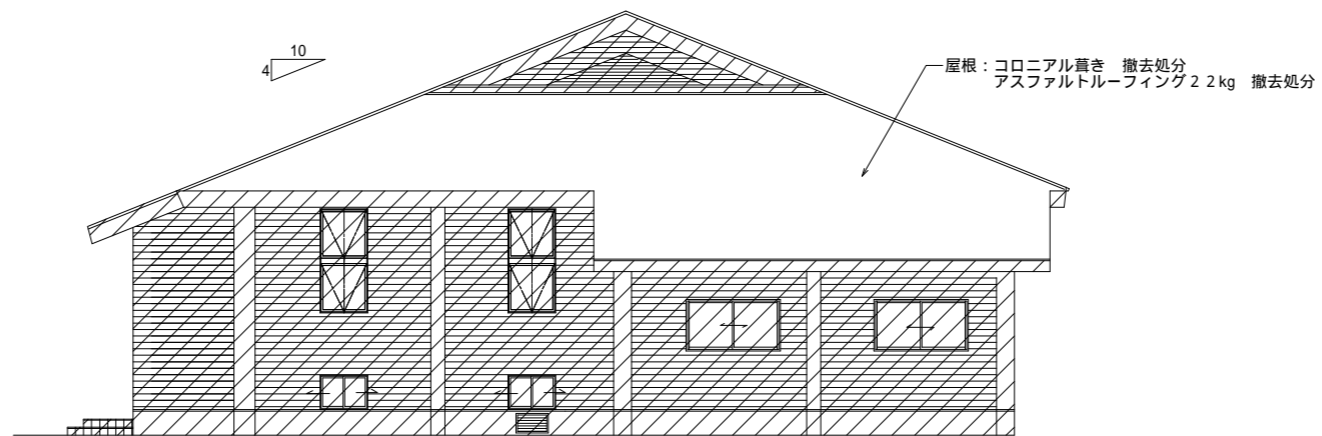
西立面図 (現況) S = 1 : 100



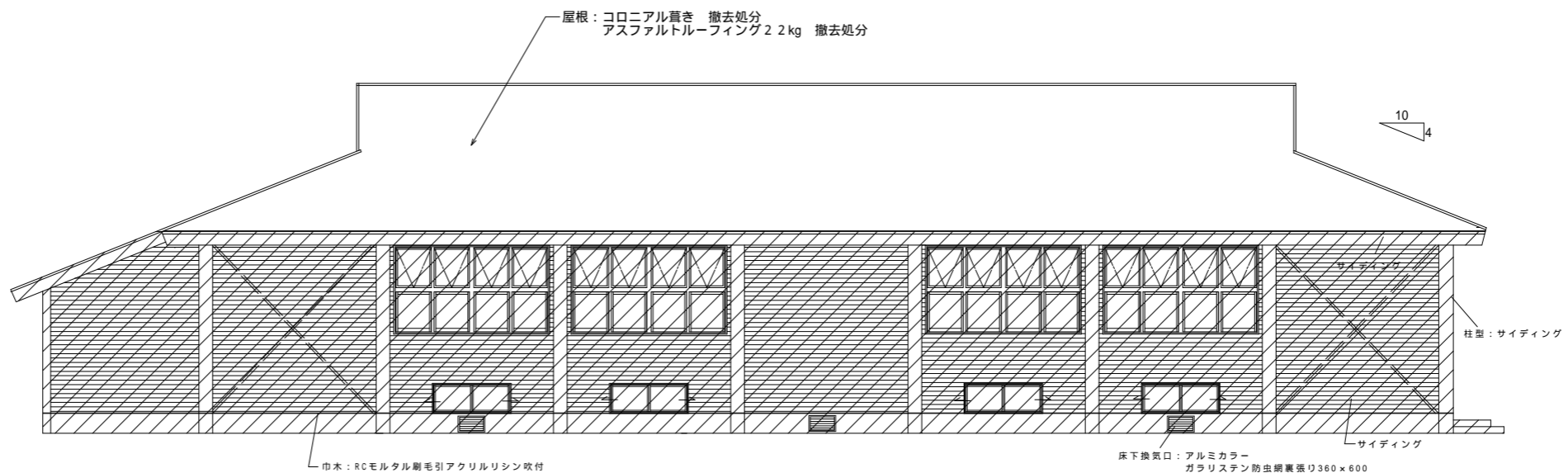
南立面図 (現況) S = 1 : 100

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	立面図 (現況)					R2. 8.31	A-12
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



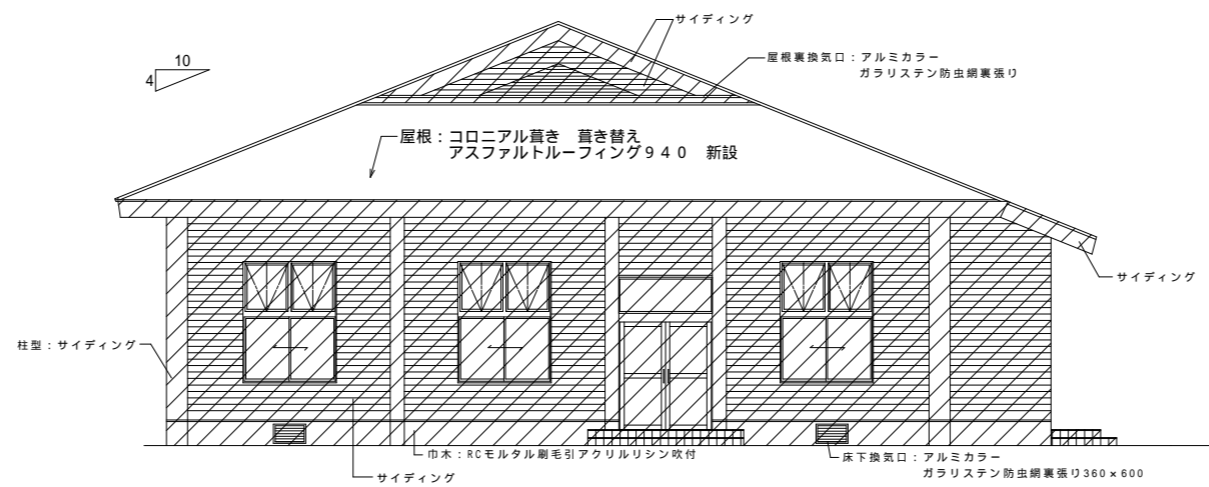
東立面図 (現況) S = 1 : 100



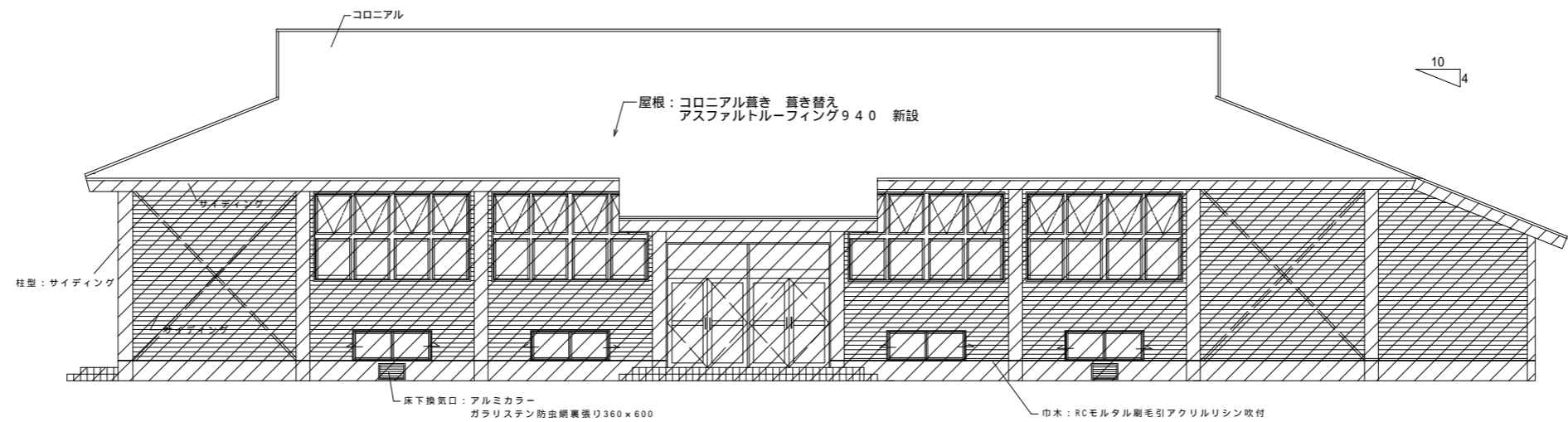
北立面図 (現況) S = 1 : 100

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	立面図 (現況)					R2. 8.31	A-13
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



西立面図 (改修後) S = 1 : 100



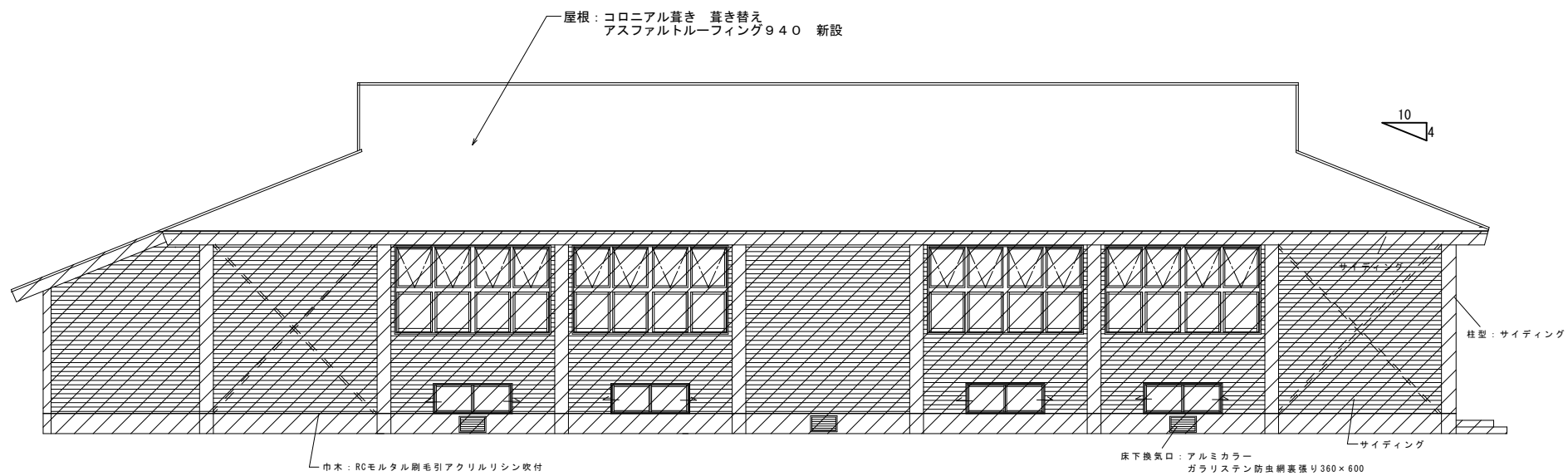
南立面図 (改修後) S = 1 : 100

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	立面図 (改修後)					R2. 8.31	A-14
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



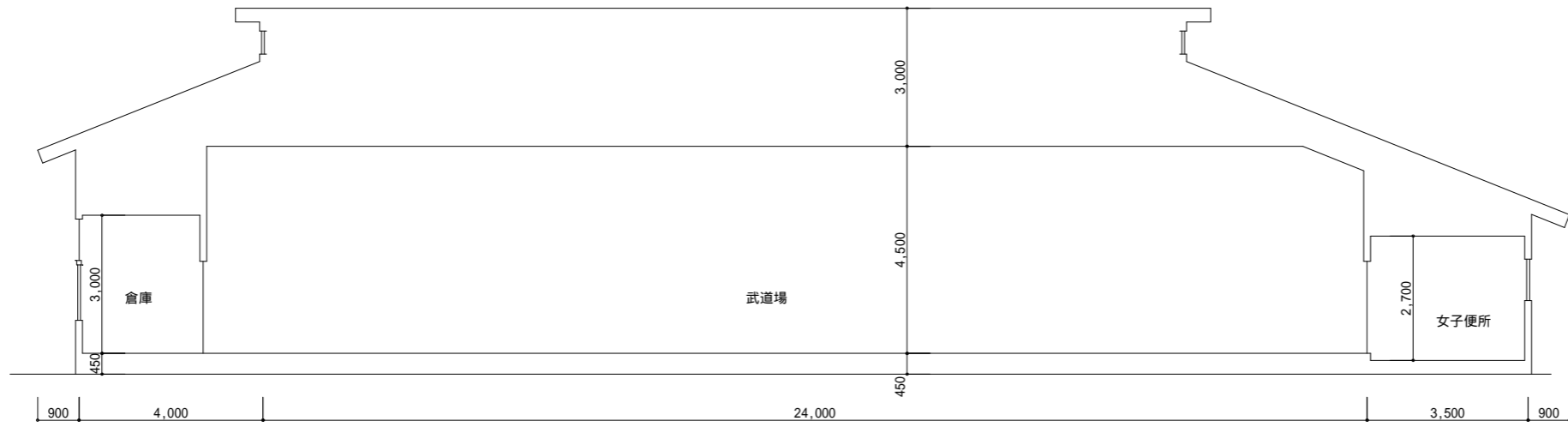
東立面図 (改修後) S=1:100



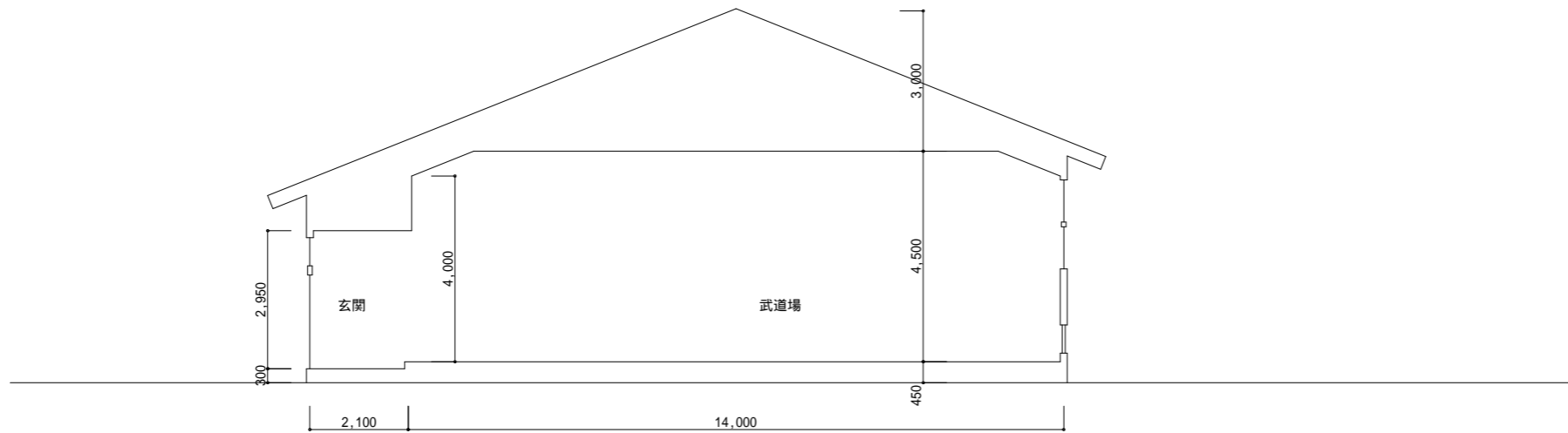
北立面図 (改修後) S=1:100

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	立面図④ (改修後)					R2. 8. 31	A-15
	縮尺	S=1:100					訂正年月日	種別

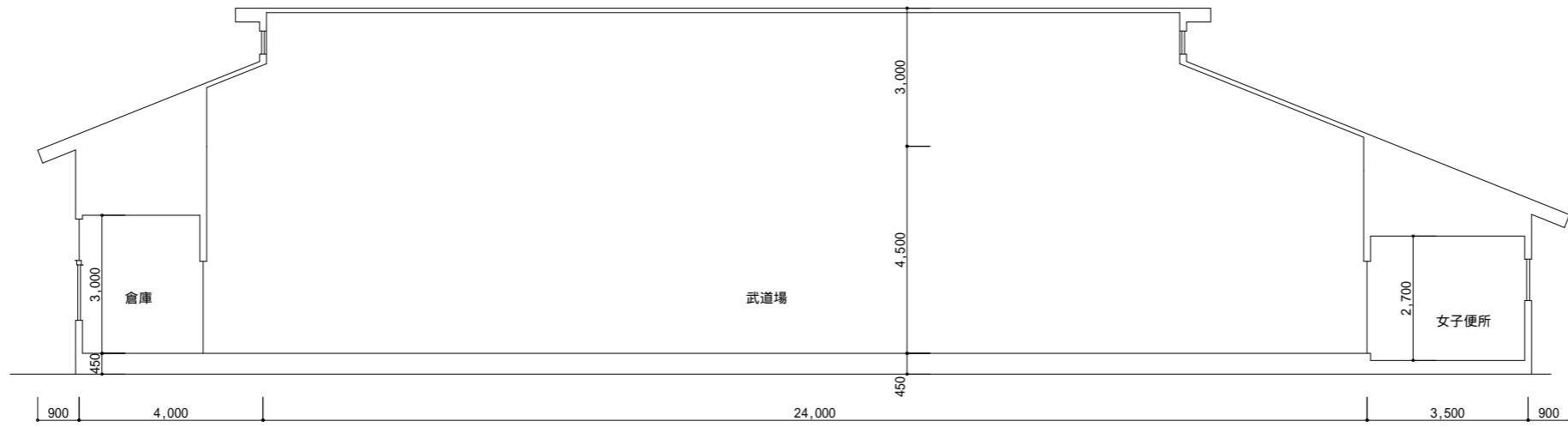


b - b ' 断面図 (現況) S = 1 : 100

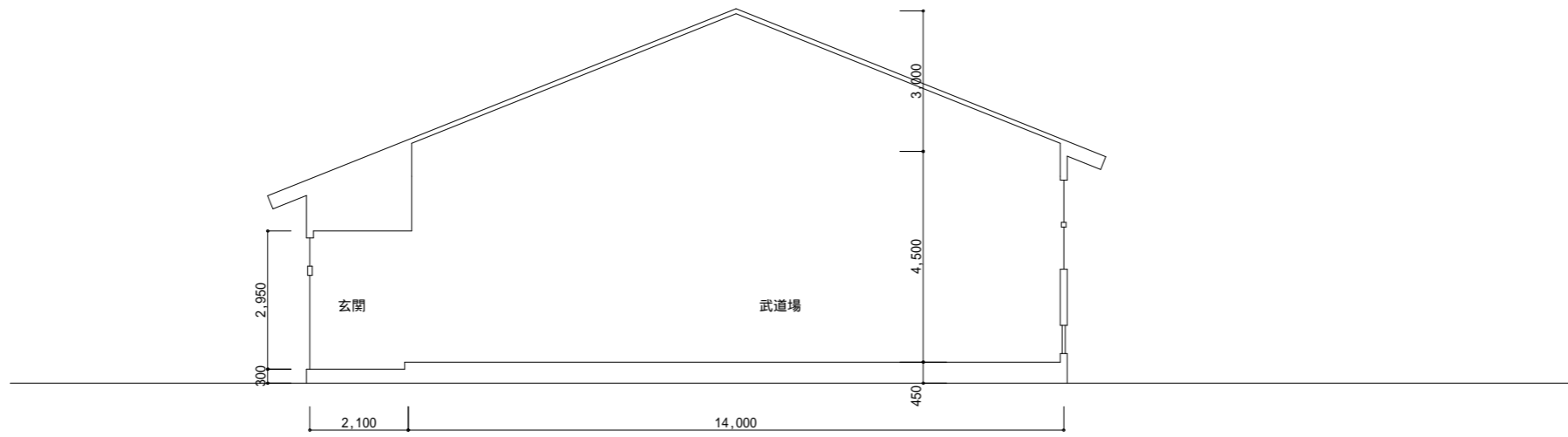


a - a ' 断面図 (現況) S = 1 : 100

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	断面図 (現況)					R2. 8.31	A-16
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別

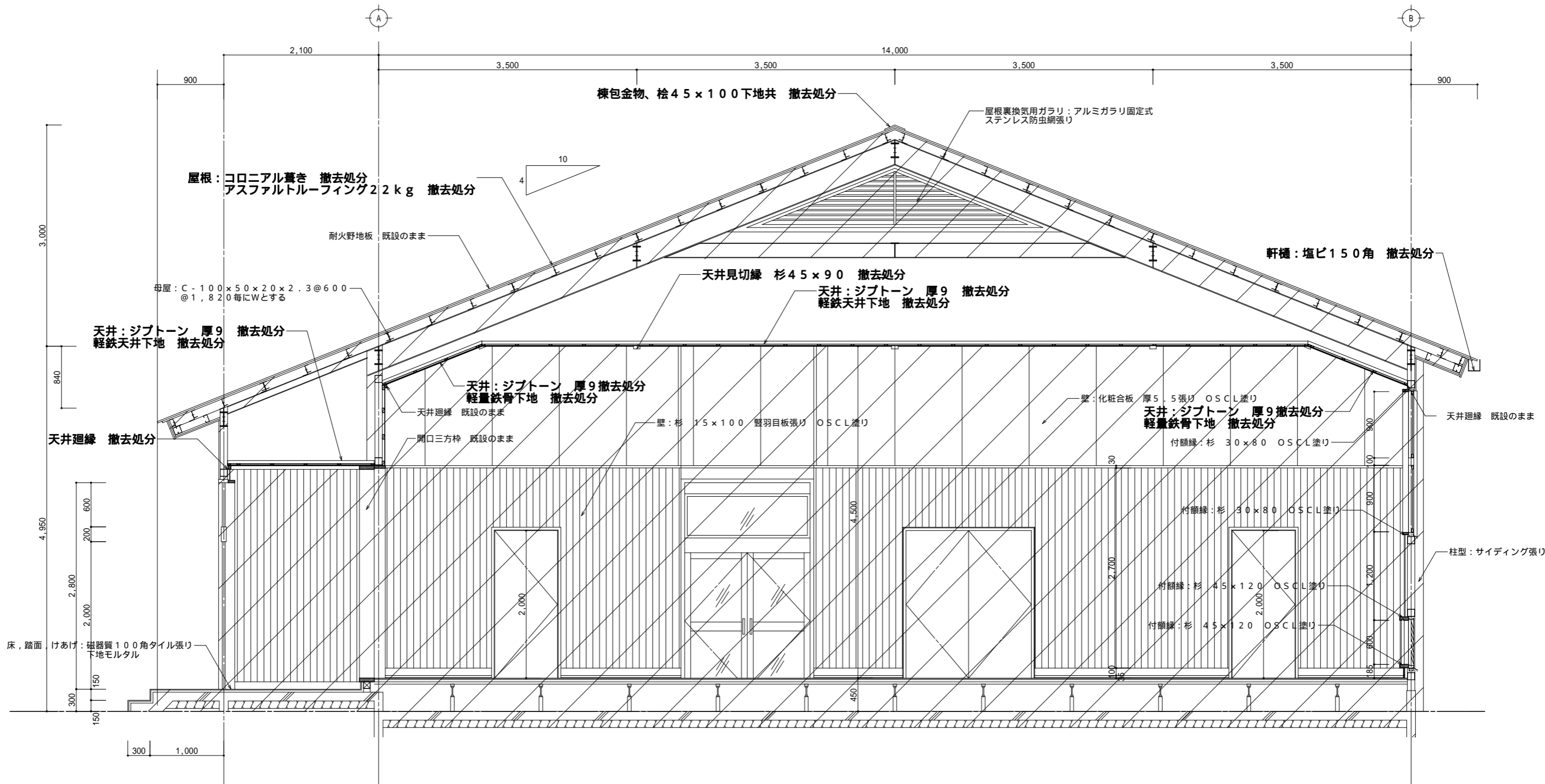


b - b ' 断面図 (改修後) S = 1 : 100



a - a ' 断面図 (改修後) S = 1 : 100

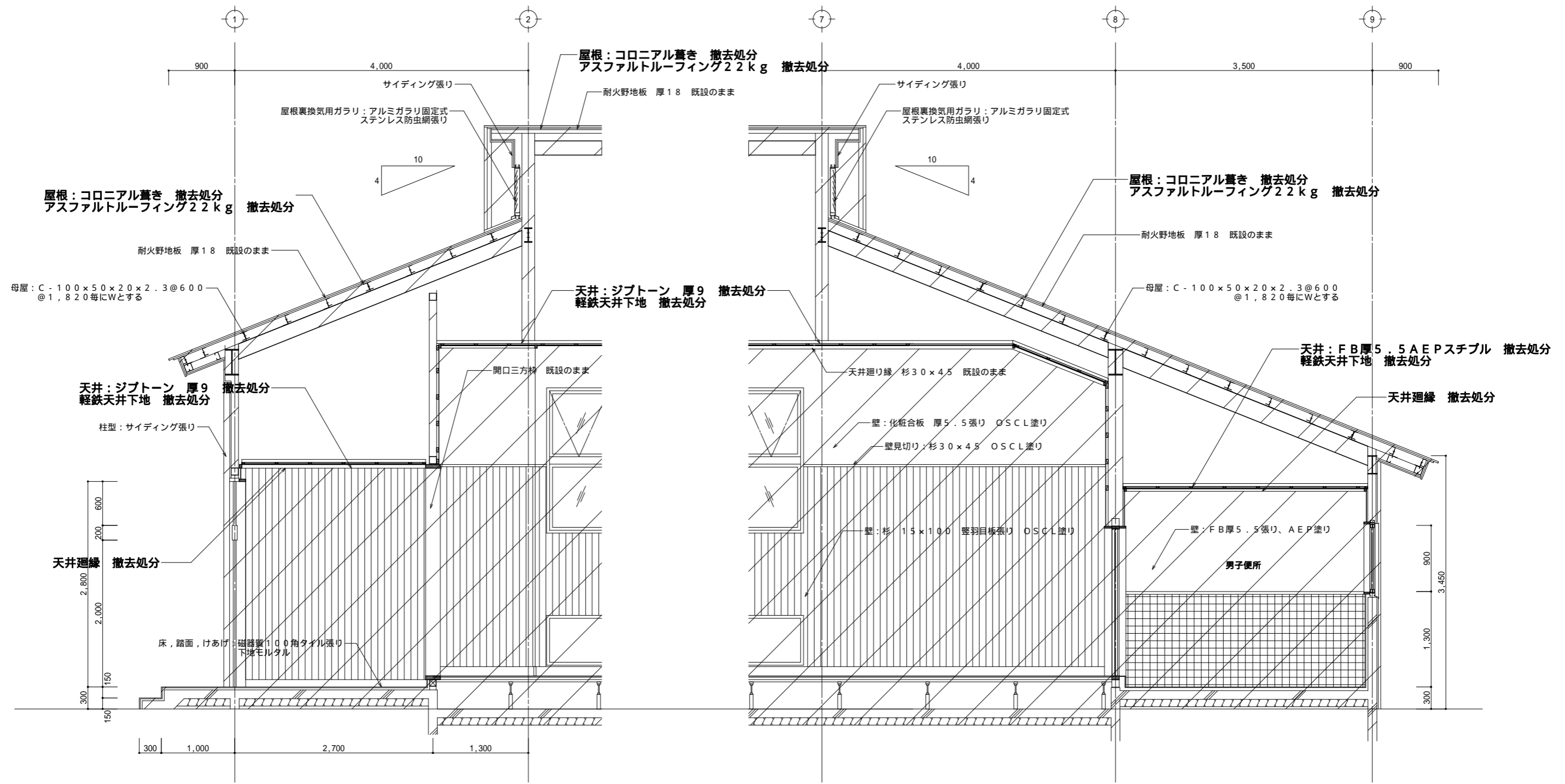
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	断面図 (改修後)					R2. 8.31	A-17
	縮尺	S = 1 : 100					訂正年月日	種別



矩計図 (現況) S = 1 : 40

今回工事 範囲外を示す

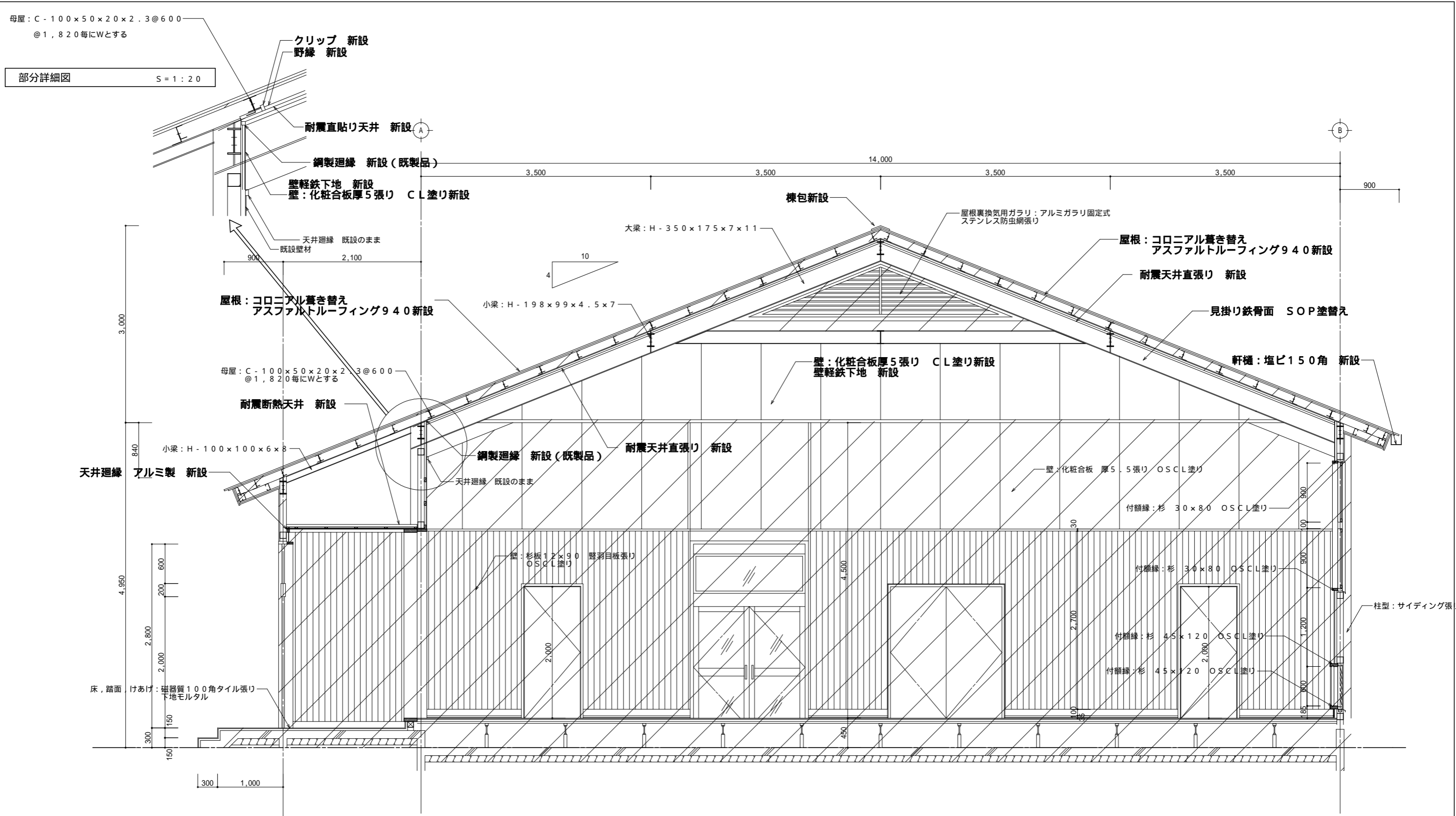
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	矩計図 (現況)					R2. 8.31	A-18
	縮尺	S = 1 : 40					訂正年月日	種別



矩計図 (現況) S = 1 : 40

今回工事 範囲外を示す

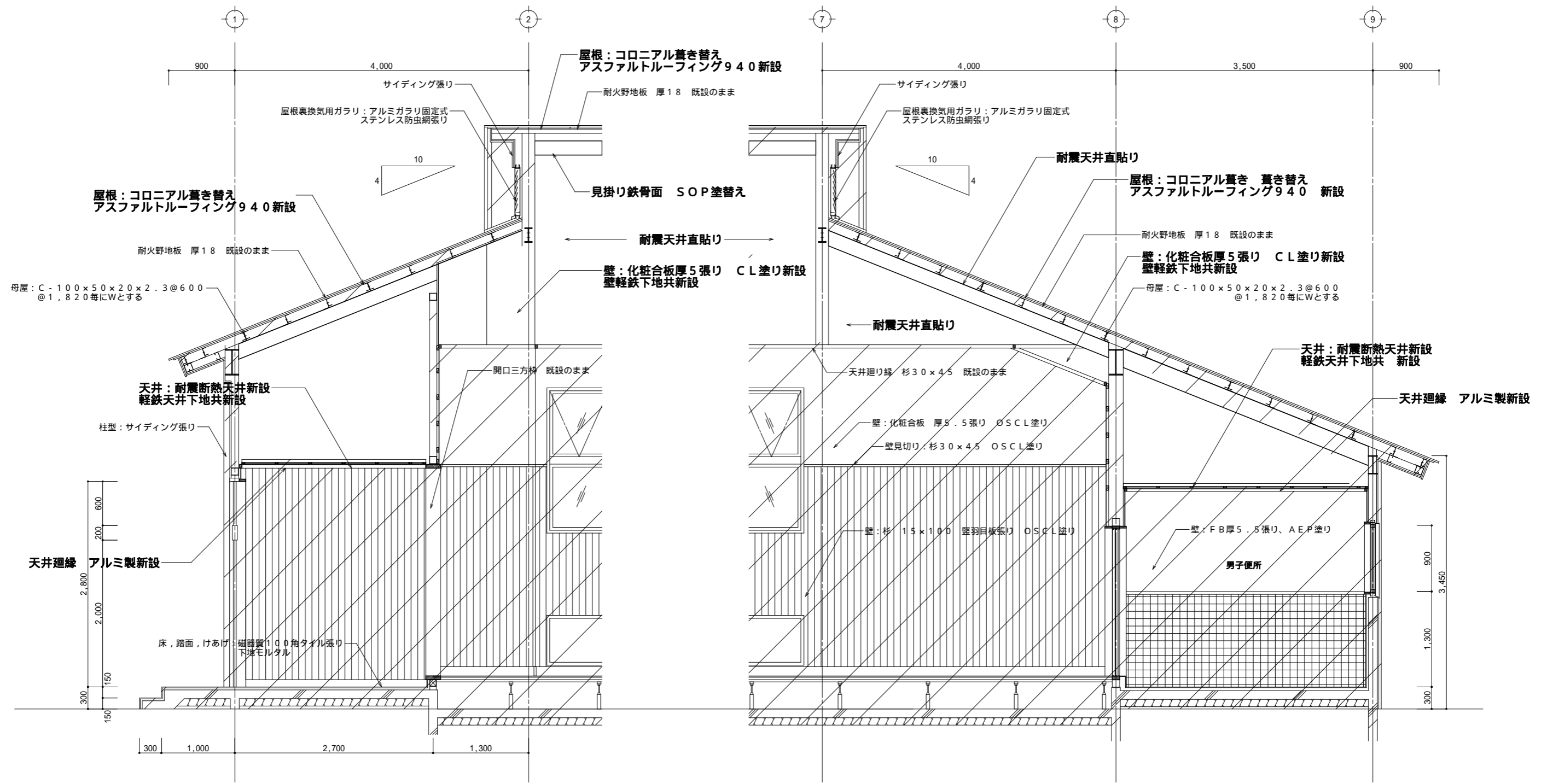
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	矩計図 (現況)					R2. 8.31	A-19
	縮尺	S = 1 : 40					訂正年月日	種別



矩計図 (改修後) S=1:40

今回工事 範囲外を示す

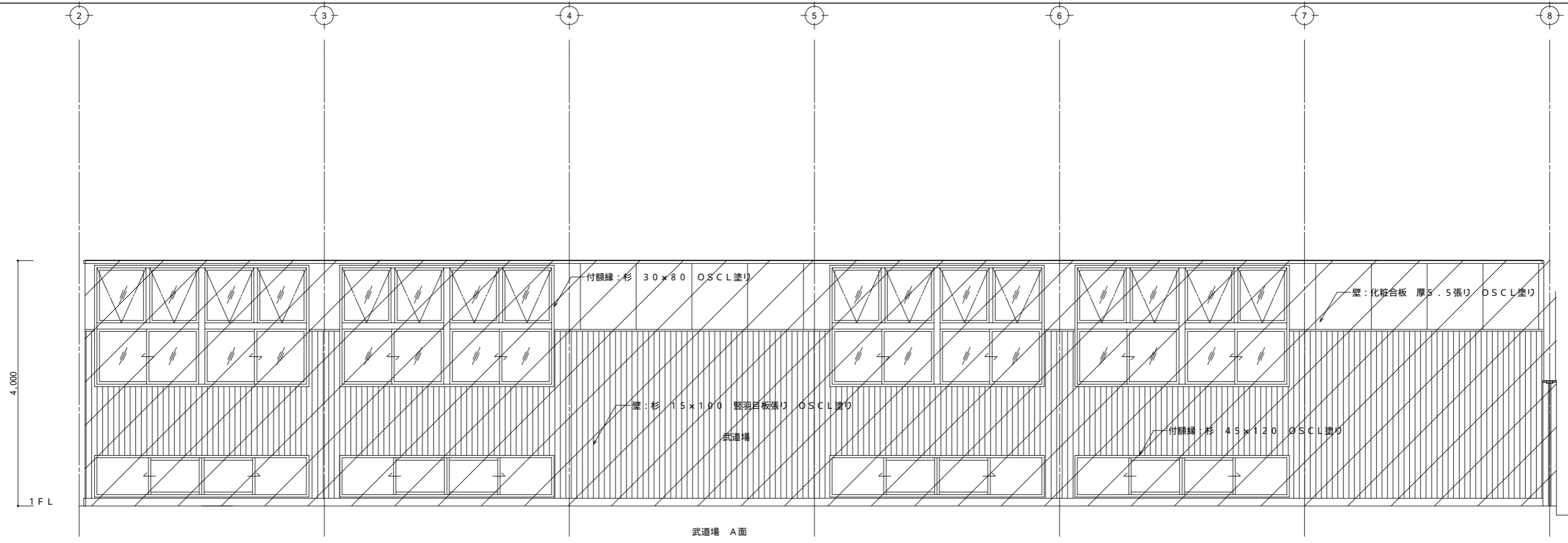
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	矩計図 (改修後)					R2. 8.31	A-20
	縮尺	S=1:40					訂正年月日	種別



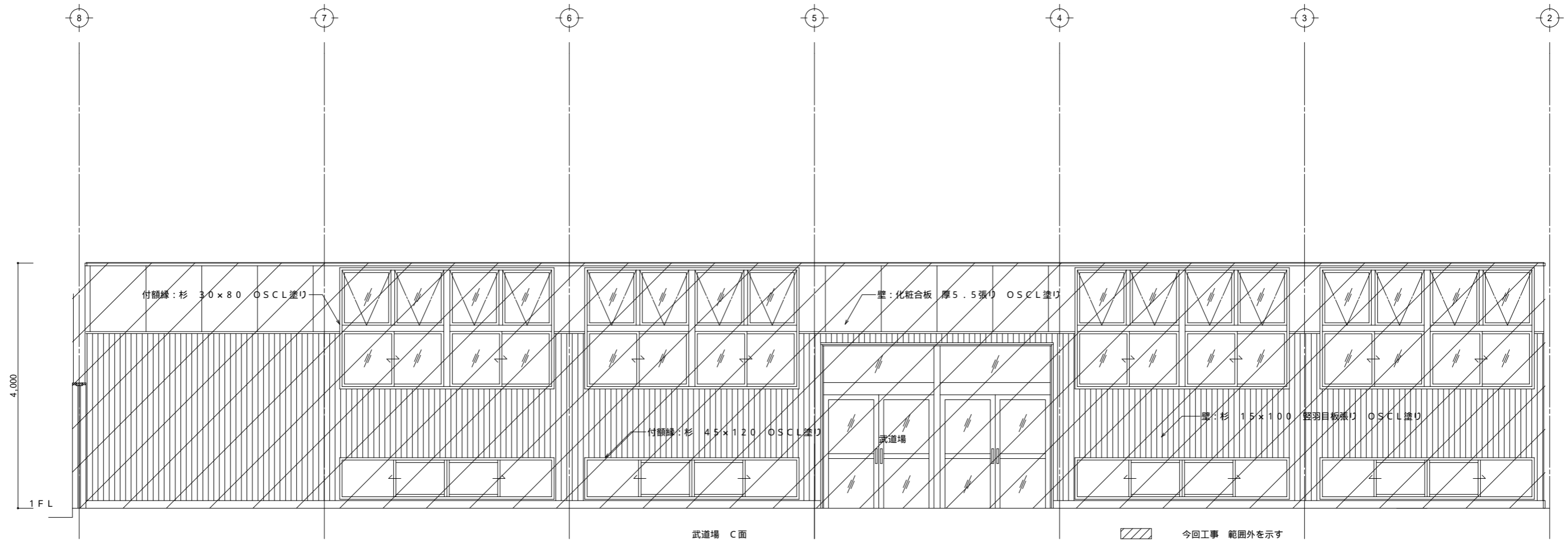
矩計図 (改修後) S = 1 : 4 0

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	矩計図 (改修後)					R2. 8.31	A-21
	縮尺	S = 1 : 4 0					訂正年月日	種別



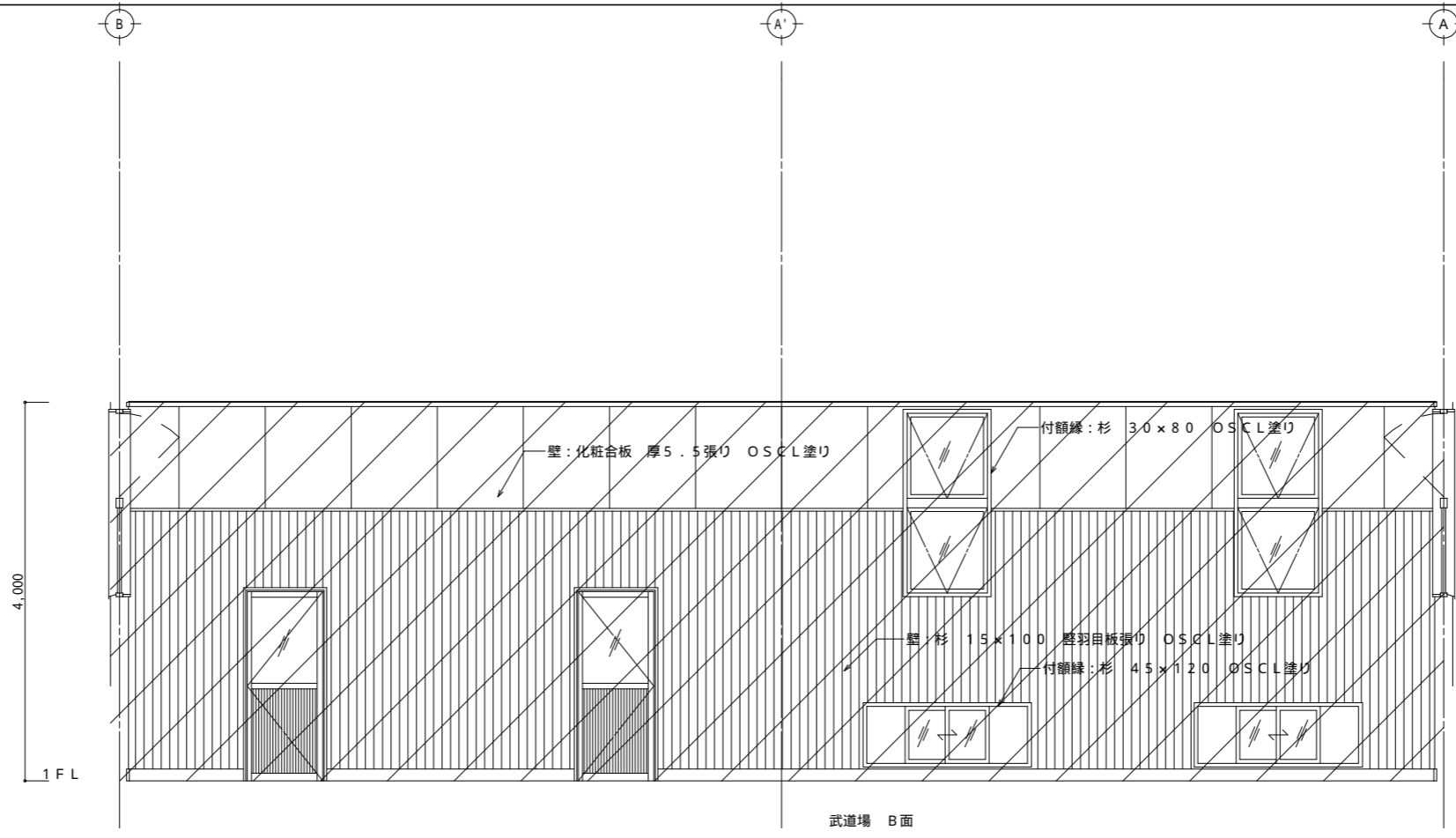
武道場 A面



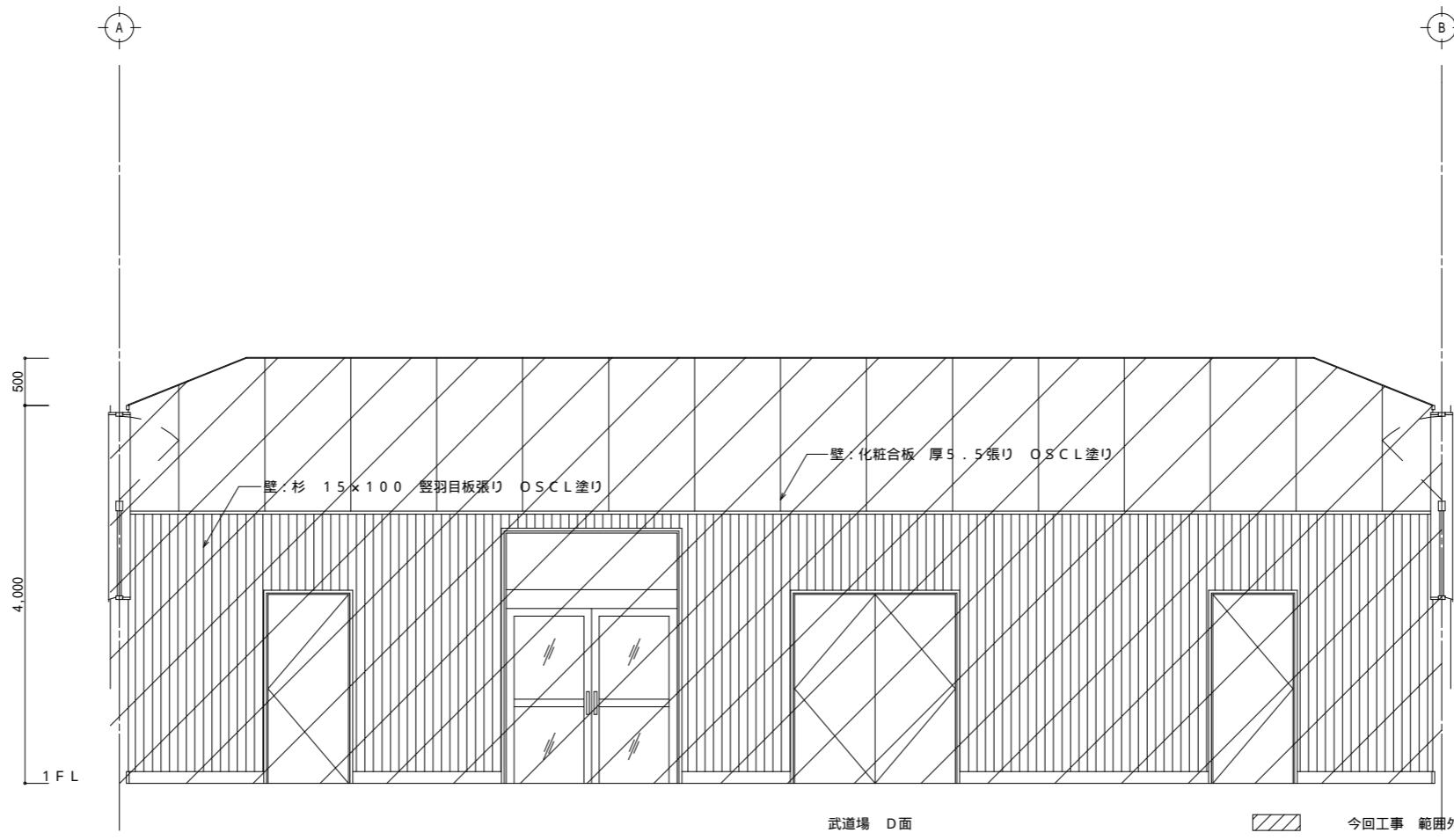
武道場 C面

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	展開図 (現況)					R2. 8.31	A-22
	縮尺	S = 1 : 50					訂正年月日	種別



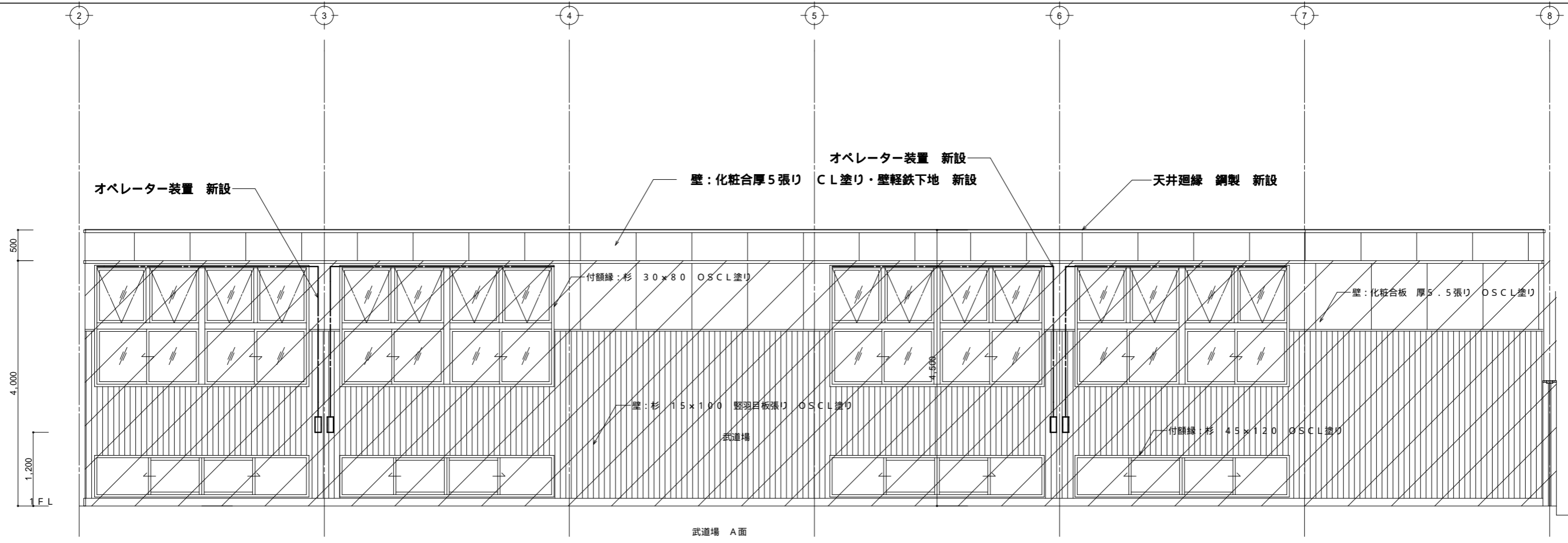
武道場 B面



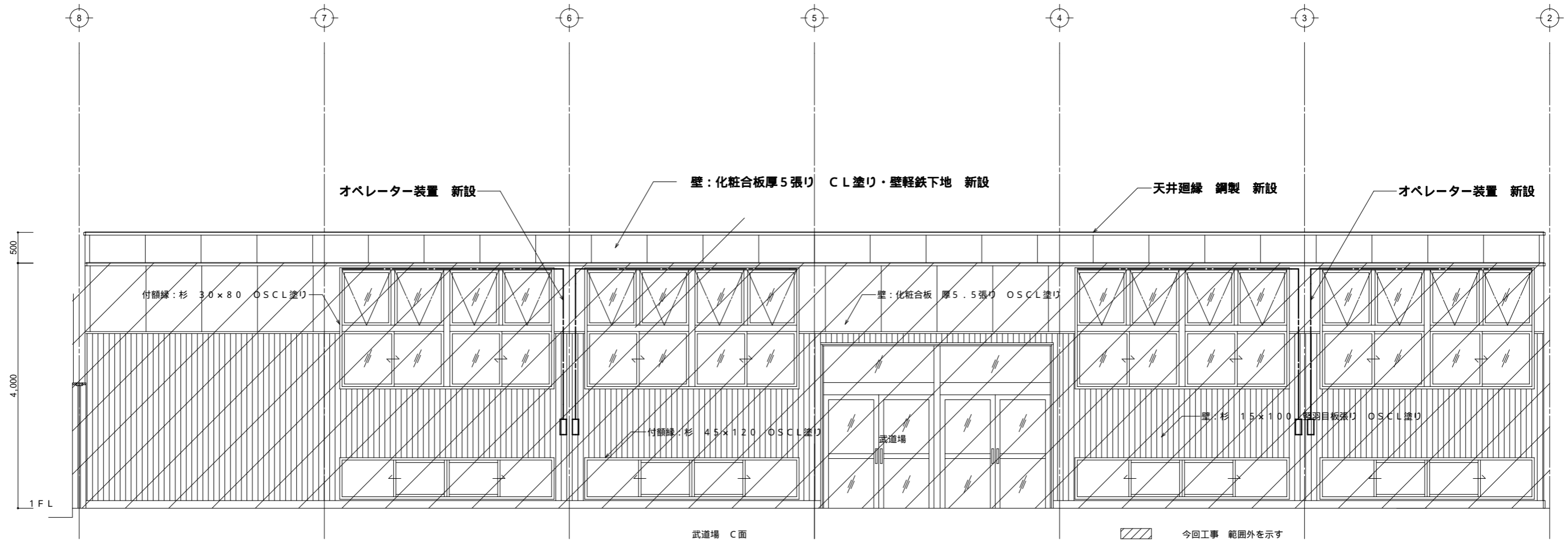
武道場 D面

今回工事 範囲外を示す

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	展開図 (現況)					R2. 8.31	A-23
	縮尺	S=1:50					訂正年月日	種別

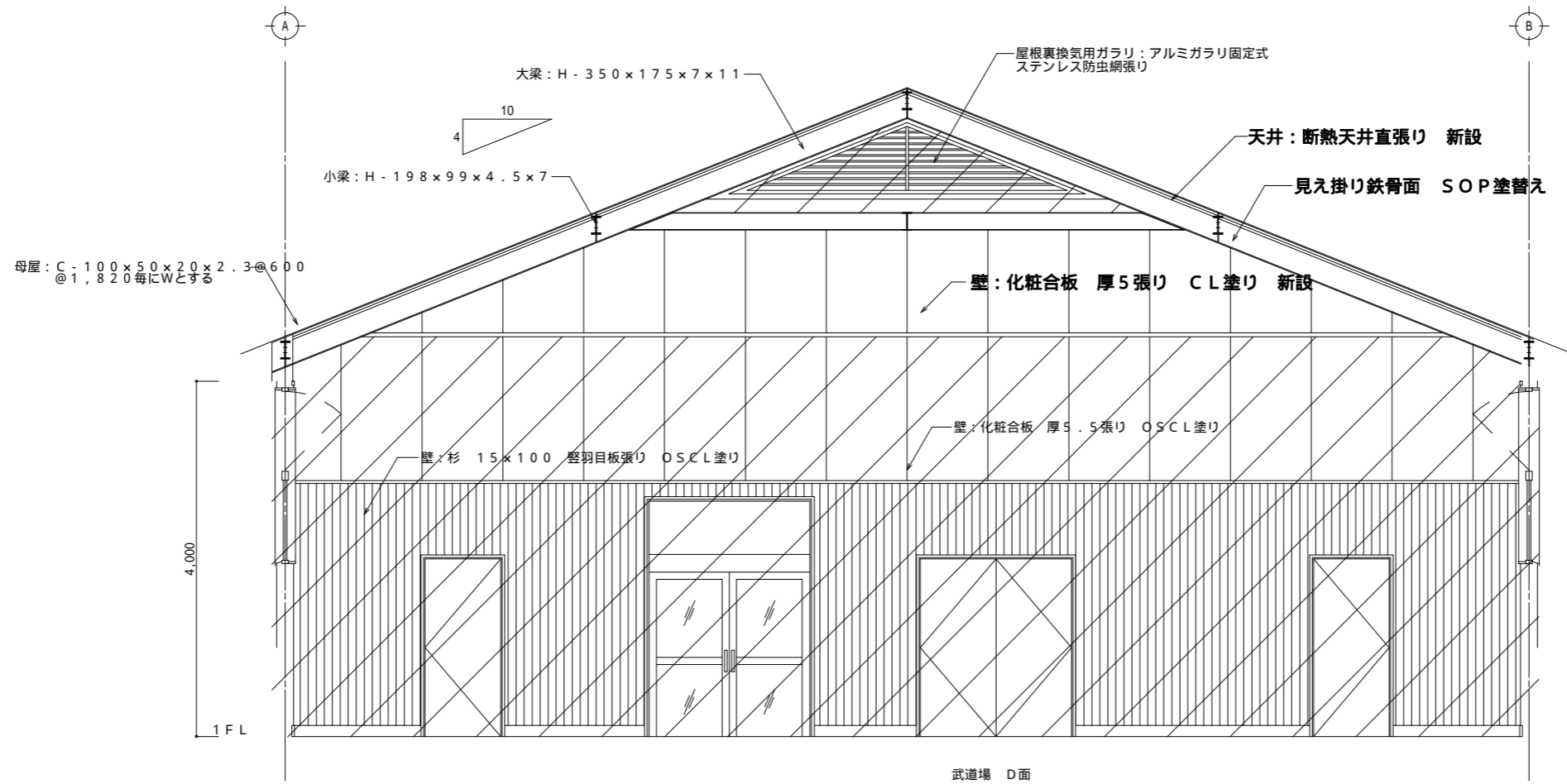
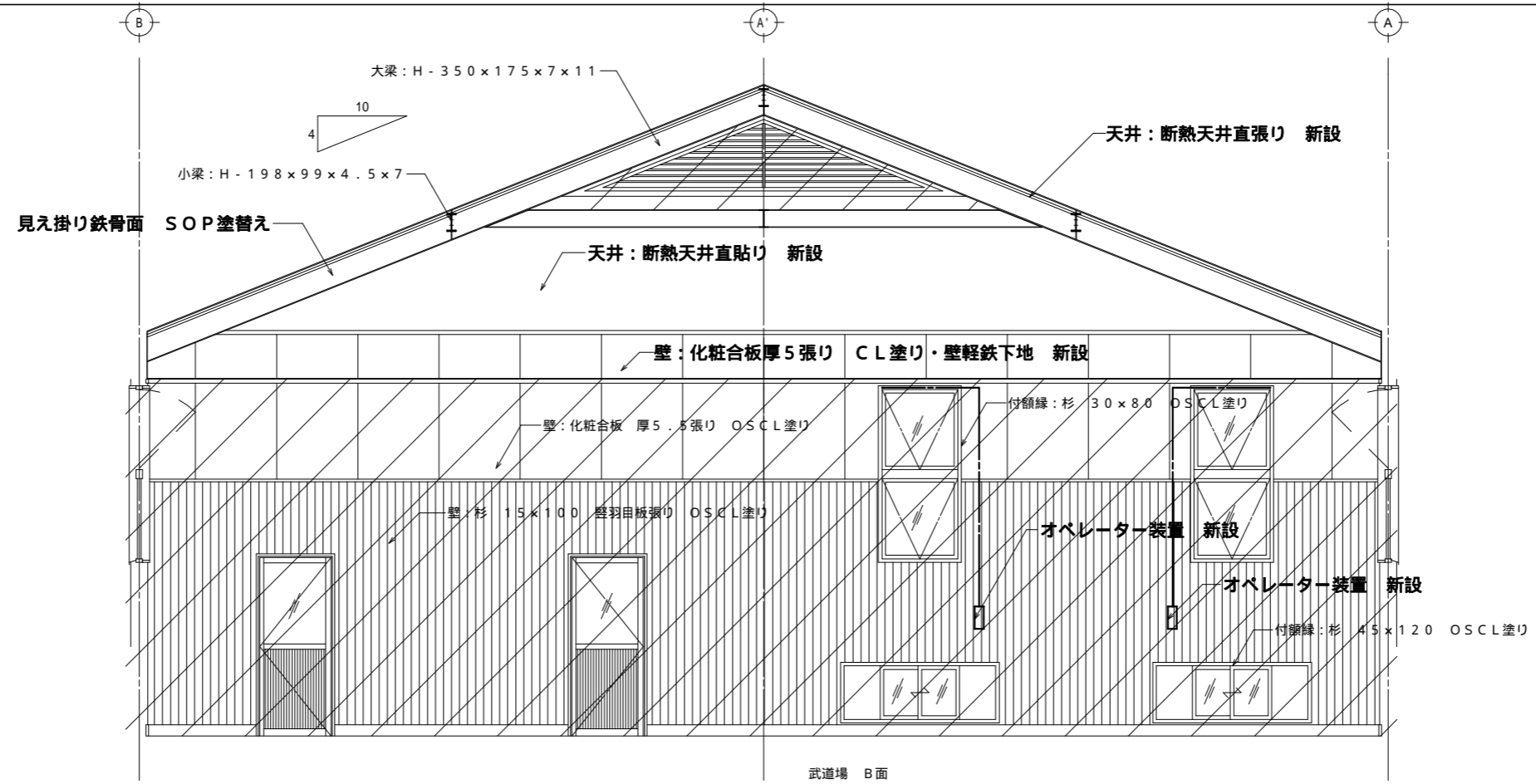


武道場 A面

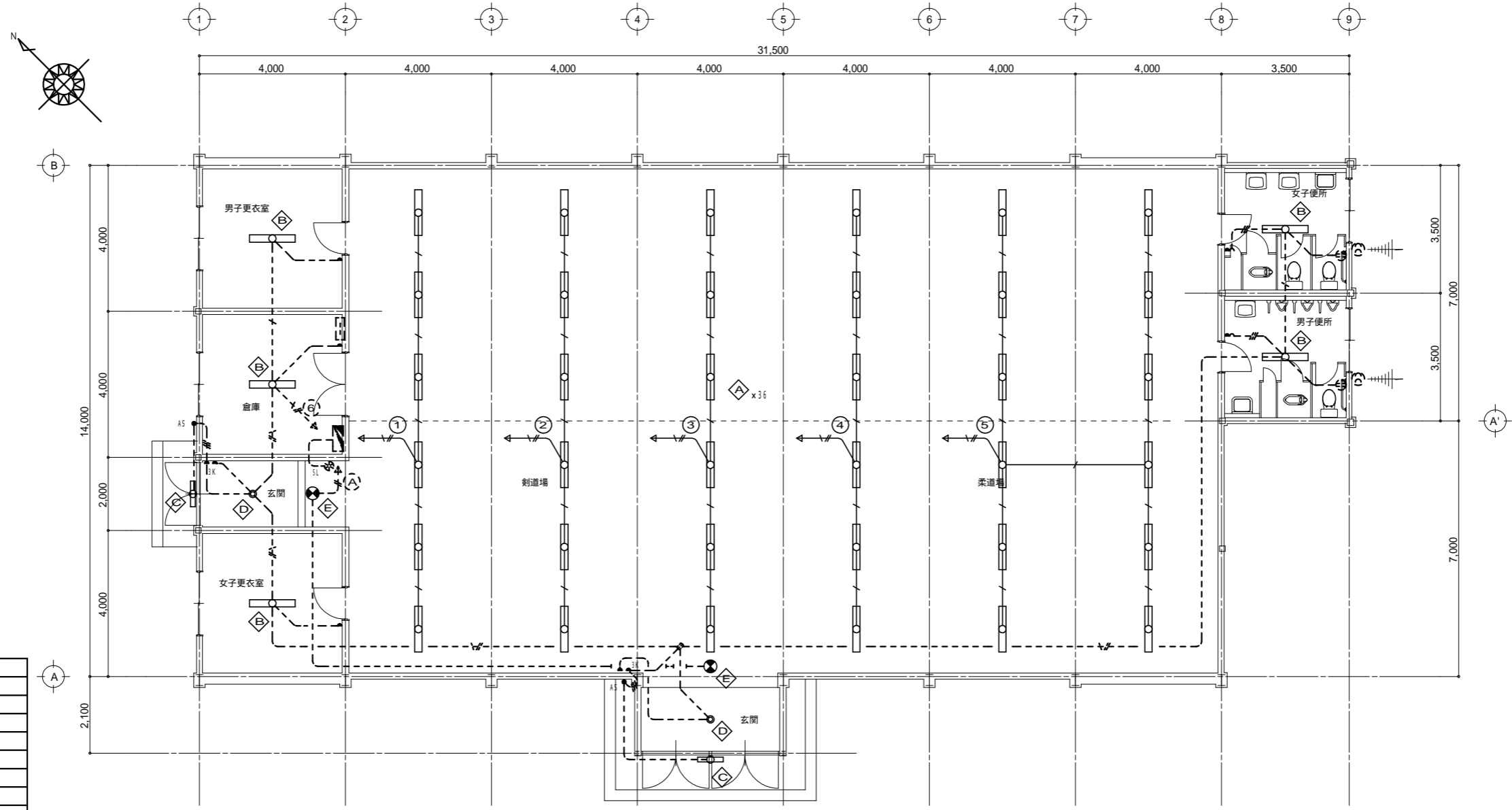


武道場 C面

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	展開図 (改修後)					R2. 8.31	A-24
	縮尺	S=1:50					訂正年月日	種別



特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	展開図 (改修後)					R2. 8.31	A-25
	縮尺	S=1:100					訂正年月日	種別



注1. 図中に示す、実線部分の新設を行うこと。

注2. 配線図中特記なき配管配線は下記とする。

	EEF 2.0-2C	
	2.0-3C 1C=ED	
	1.6-2C	
	1.6-3C 1C=ED	
	1.6-3C	
	1.6-2C+2C 1C=ED	

但し、二重天井内は、ケーブルクロガシとする。
壁内 立下げ部分は、既設配管利用とする。

改修後 1階平面図 S=1:100

A	B	C	D	E
LED直付型40形 W150	LED直付型40形 W150	LEDウォールライト 20形 防湿型・防雨型	LEDダウンライト 150形 拡散形ひとセンサ付	LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型
1000lm・56.0W・178.5 lm/W	520lm・31.9W・163.0 lm/W	1930lm・19.0W・101.5 lm/W	1670lm・12.4W・134.6 lm/W	
本体:銅板(白色粉末塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XLX400AEN/LE9 相当品	LSS9-4-48 本体:銅板(白色粉末塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 直付XLX450AENT/LE9 相当品	LBF3MP-2-13 5000K、Ra83、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 本体:ステンレス、カバー:ポリカーボネート(乳白) 天井直付型・壁直付型 パナソニック NNF21810/LE9 相当品	LDS2-LRS1-13 LED内蔵<ワウコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ ひと(熱線)センサ付、5000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命:40000時間(光束維持率85%) 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 枠・反射板(下部):アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) 埋込穴 150 パナソニック ダウンライトXND1564WNLE9 相当品	SH1-FBF20-BL LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 パナソニック FA20312LE1+FK20000 相当品

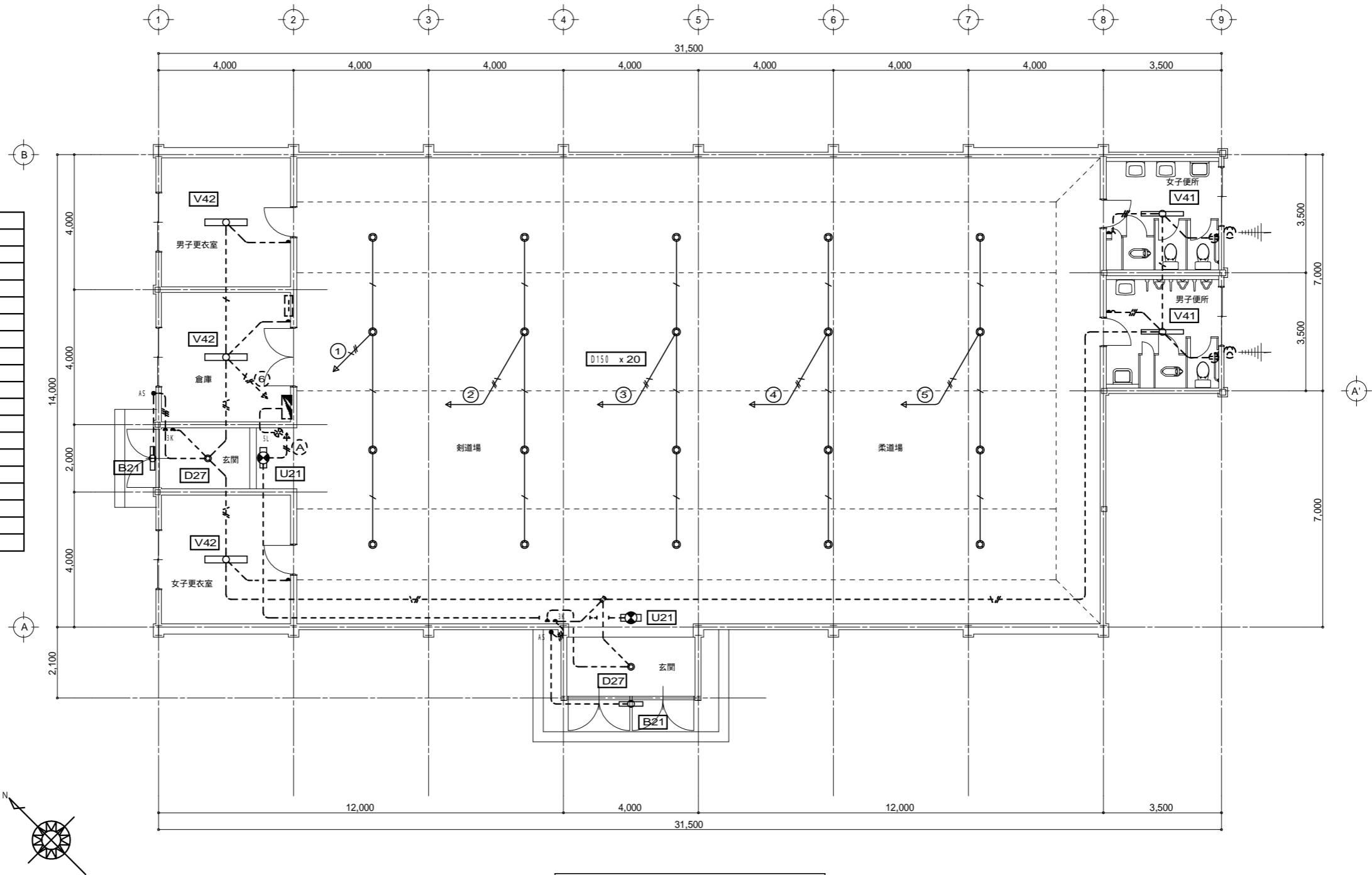
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検閲	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 電灯照明設備図(改修後)					R2. 8. 31	E- 2
	縮尺	S=1:100					訂正年月日	種別

注1, 図中に示す既設器具(実線のみ)の撤去を行うこと。
(点線にて示す器具等は流用とする)

B21	照明器具	FL - 20Wx1	露出型(壁付)
V41	"	FL - 40Wx1	露出型(天直付)
V42	"	FL - 40Wx2	"
D27	"	FDL - 27Wx1	ダウンライト
D150	"	MT - 150Wx1	"
U21	誘導灯	FL - 20Wx1 BT内蔵型	露出型
●AS	自動点滅器	100V - 3A	

注2, 配線図中実線にて示す露出配管, 配線及び既設器具撤去に伴い不要になった露出配管, 配線の撤去を行うこと。

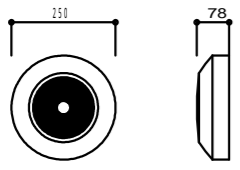
—	IV	2.0x2	(PF16)
—	—	2.0x2E2.0	(PF16)
—	—	1.6x2	(PF16)
—	—	1.6x2E1.6	(PF16)
—	—	1.6x3	(PF16)
—	—	1.6x3E1.6	(PF22)



現況1階平面図 S = 1:100

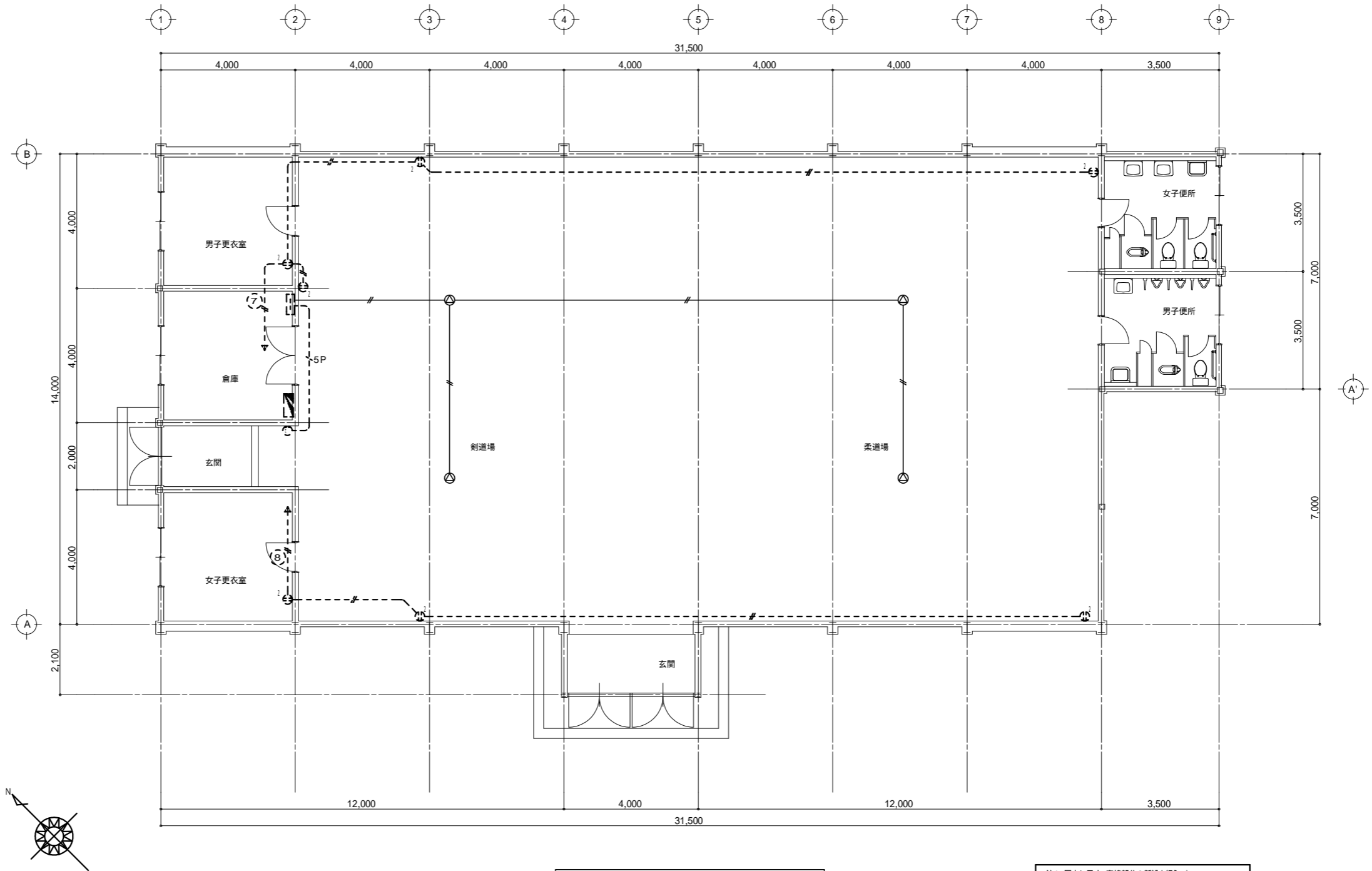
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 電灯照明設備図(現況撤去)					R2. 8. 31	E - 3
	縮尺	S = 1:100					訂正年月日	種別

露出型スピーカー(1W)



<L級/1W>

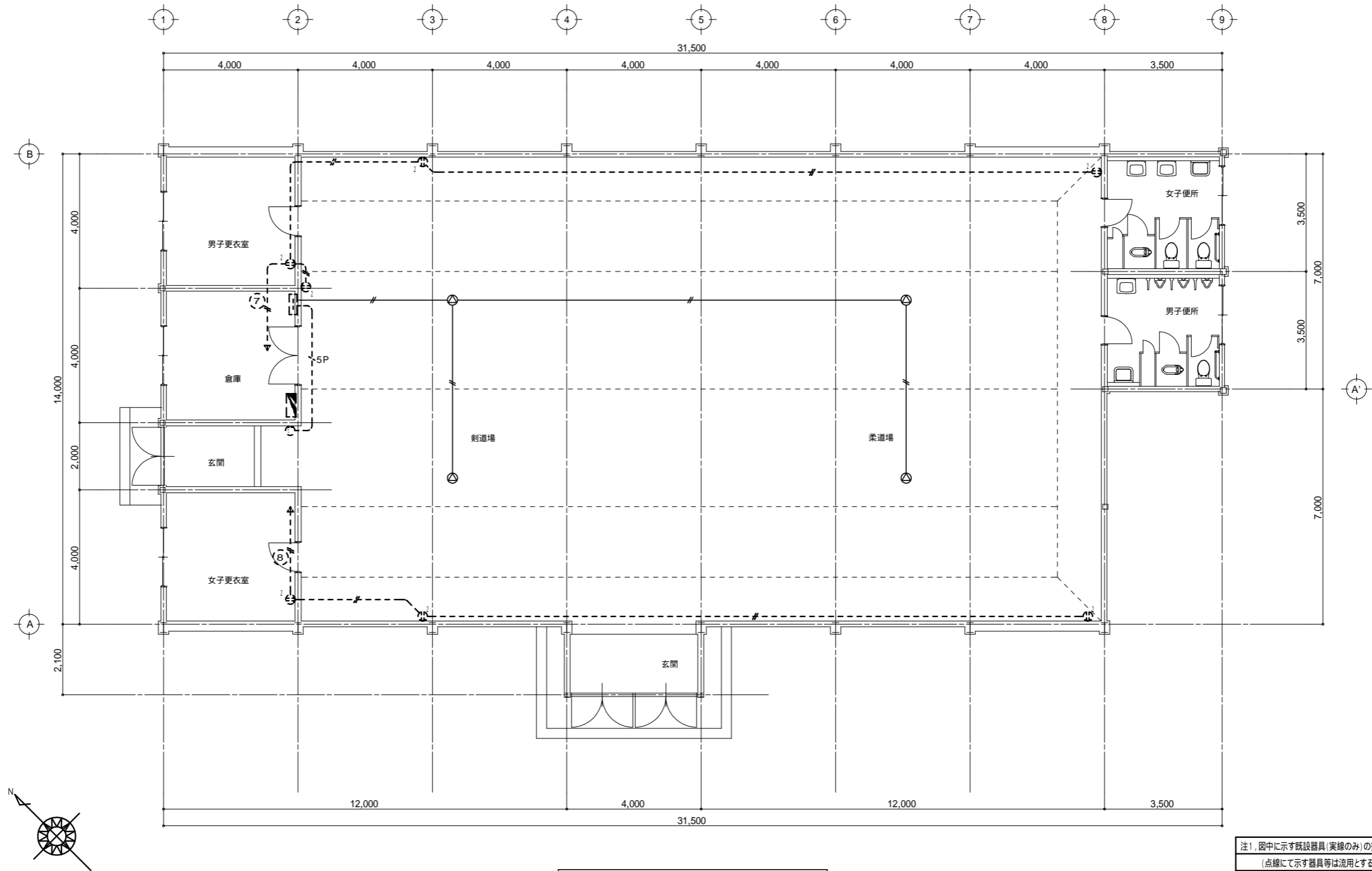
定格入力	3W(3.3k), 1W(10k)
入力インピーダンス	3.3k, 10k
周波数特性	180Hz - 15kHz
出力音圧レベル	92dB(1m, 1W)
使用スピーカー	12cmコーンスピーカー
音量調整	4段階



改修後 1階平面図 S=1:100

注1. 図中に示す、実線部分の新設を行うこと。
注2. 配線図中特記なき配管配線は下記とする。
放送 HP 1.2-2C
但し、二重天井内は、ケーブルコロンとする。
壁内 立下げ部分は、既設配管利用とする。

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検閲	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 コンセント・放送設備図(改修後)					R2. 8.31	E-4
	縮尺	S=1:100					訂正年月日	種別



現況1階平面図 S = 1:100

注1, 図中に示す既設器具(実線のみ)の撤去を行うこと。
(点線にて示す器具等は流用とする)

⊕	コンセント 2P15A x 2	新金属プレート
□	端子盤	
⊗	スピーカ(3W)	天井埋込型

注2, 配線図中実線にて示す露出配管、配線及び、既設器具撤去に伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。

コンセント	IV	2.0x2	(PF16)
放送	HP	1.2-2C	(PF16)

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 コンセント・放送設備図(現況撤去)					R2. 8. 31	E- 5
	縮尺	S = 1:100					訂正年月日	種別

注1. 図中に示す、実線部分の新設を行うこと。

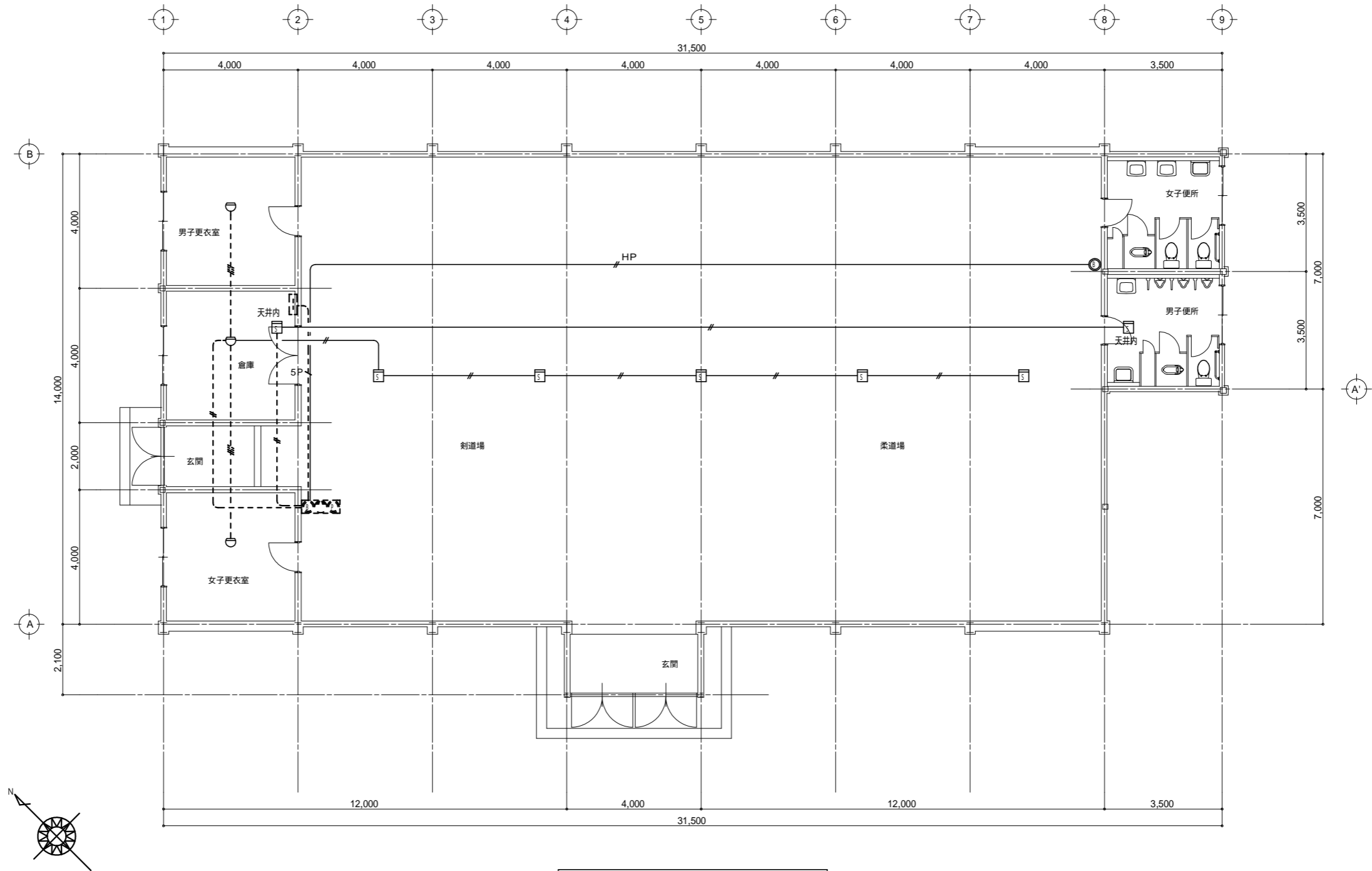
注2. 配線図中特記なき配管配線は下記とする。

AE	1.2-2C
#	1.2-4C
HP	1.2-2C
5P	HP 1.2-5P

但し、二重天井内は、ケーブルコロッサとする。
壁内 立下げ部分は、既設配管利用とする。

注3. 凡例

	総合盤(P-1)	埋込型
	電鈴(150)	壁付け
	差動式スポット型感知器 2種	
	煙スポット型感知器 2種	



改修後 1階平面図 S = 1:100

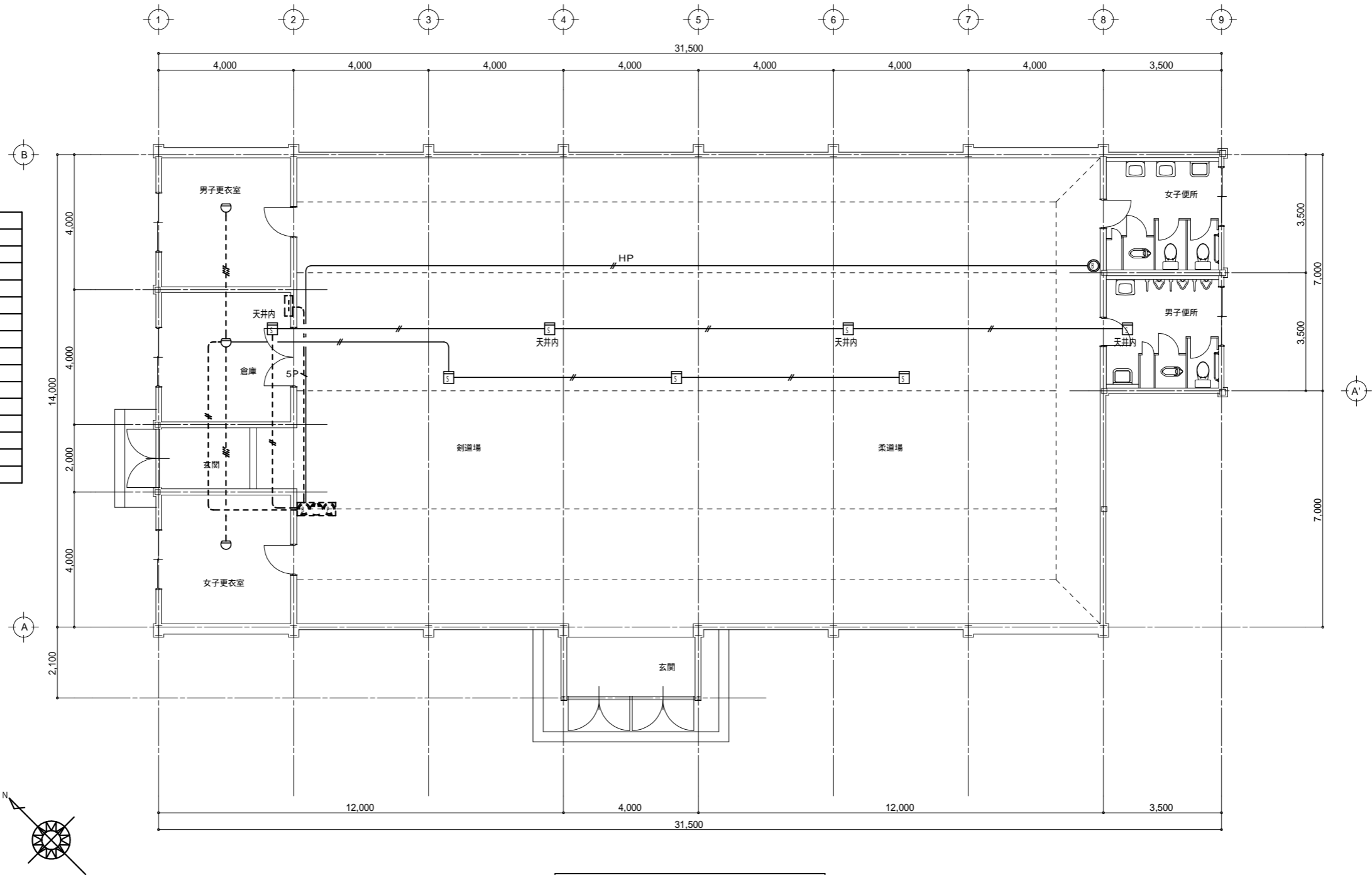
特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 自動火災報知設備図(改修後)					R2. 8. 31	E- 6
	縮尺	S = 1:100					訂正年月日	種別

注1, 図中に示す既設器具(実線のみ)の撤去を行うこと。
(点線で示す器具等は流用とする)

	総合盤(P-1)	埋込型
	電鈴(150)	壁付け
	差動式スポット型感知器 2種	
	煙スポット型感知器 2種	

注2, 配線図中実線にて示す露出配管、配線及び、既設器具撤去に伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。

	AE 1.2-2C (PF16)
	# 1.2-4C (PF16)
	HP 1.2-2C (PF16)
	SP 1.2-5P (PF16)



現況1階平面図 S = 1:100

特記	工事名称	青山中学校 武道場吊天井耐震対策工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	電気設備 自動火災報知設備図(現況撤去)					R2. 8. 31	E- 7
	縮尺	S = 1:100					訂正年月日	種別